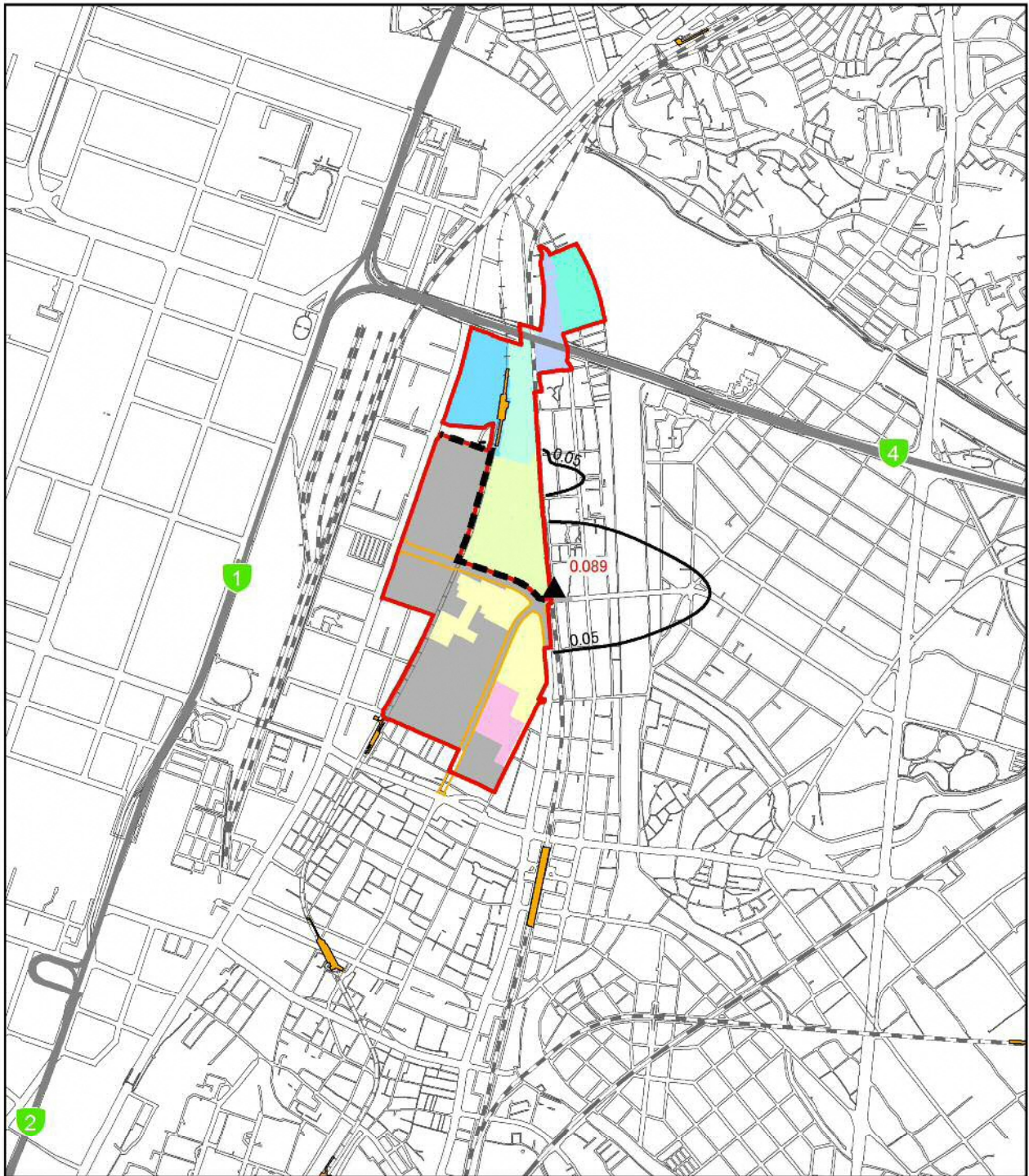


資料編

I 大気質予測結果

工事の実施（造成工事の実施）による二酸化窒素（付加濃度）の予測結果（1時間値）	資料 I -1
工事の実施（造成工事の実施）による浮遊粒子状物質（付加濃度）の予測結果（1時間値）	資料 I -17
工事の実施（造成工事の実施）による二酸化窒素（付加濃度）の予測結果（1時間値） （環境保全措置実施後）	資料 I -33
工事の実施（造成工事の実施）による浮遊粒子状物質（付加濃度）の予測結果（1時間値） （環境保全措置実施後）	資料 I -49
工事の実施（造成工事の実施）による二酸化窒素の予測結果（1時間値）	資料 I -65
工事の実施（造成工事の実施）による浮遊粒子状物質の予測結果（1時間値）	資料 I -97



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

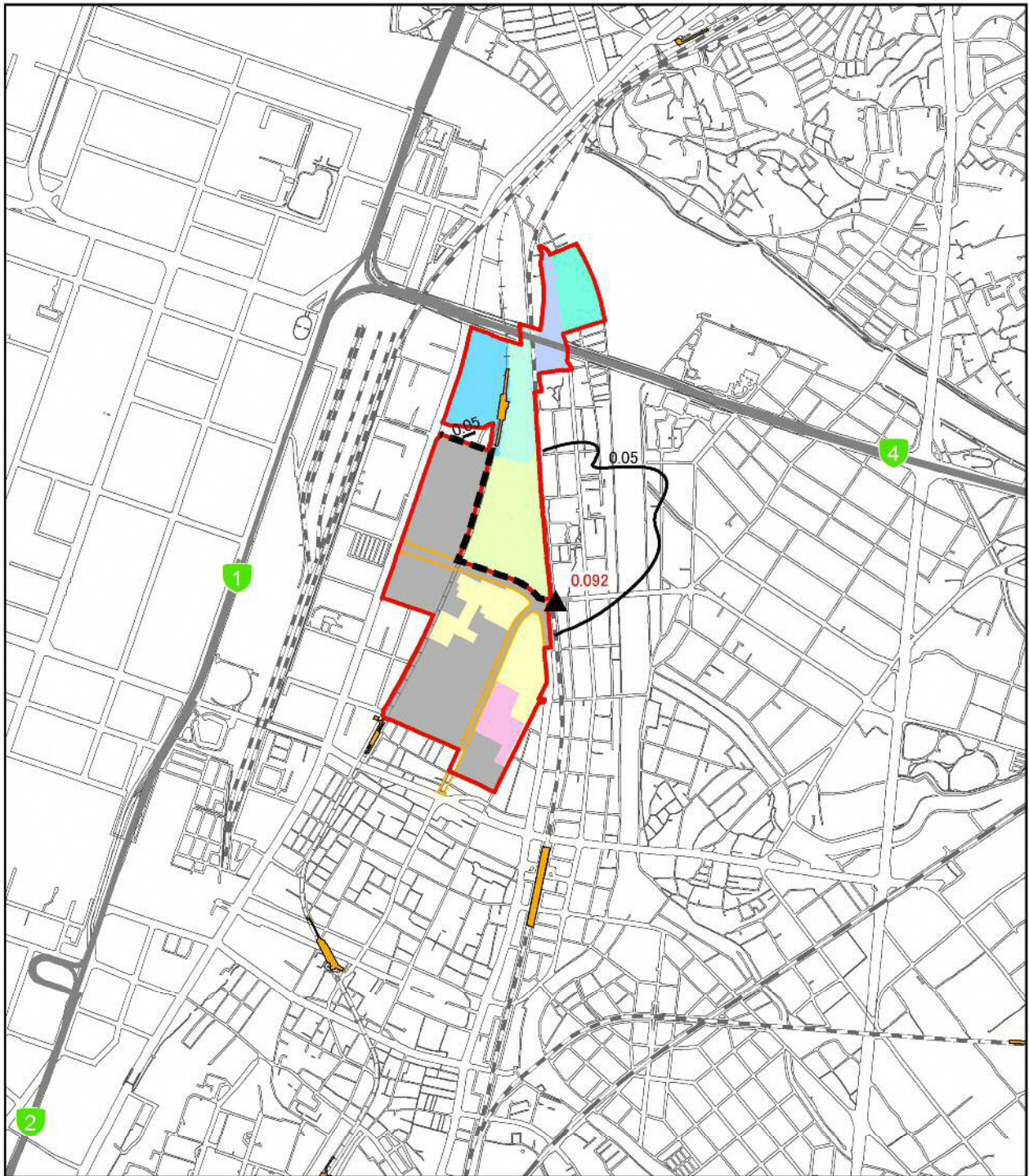
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向W 大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1 (1) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向W 大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

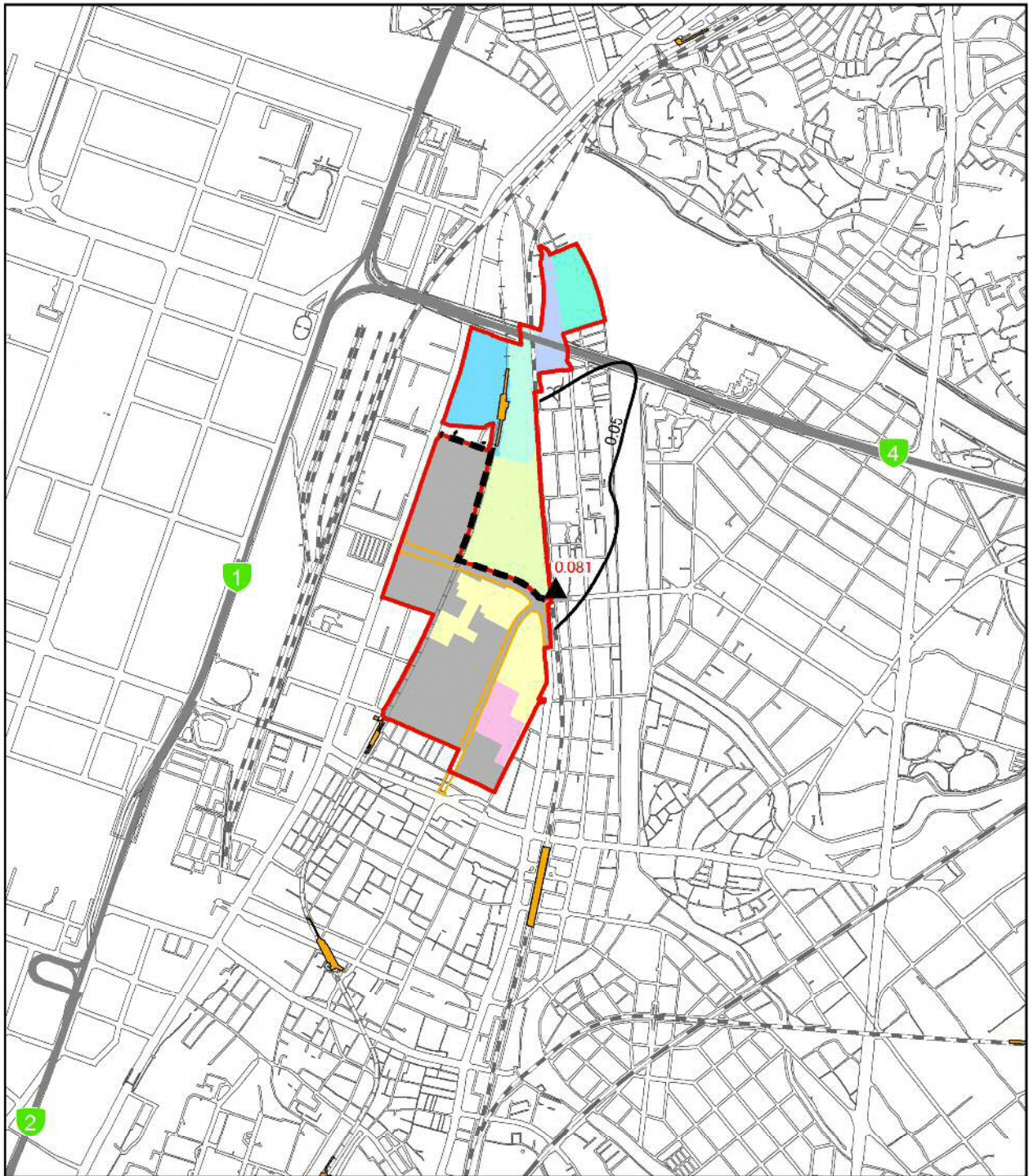
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向WSW 大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1(2) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向WSW 大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

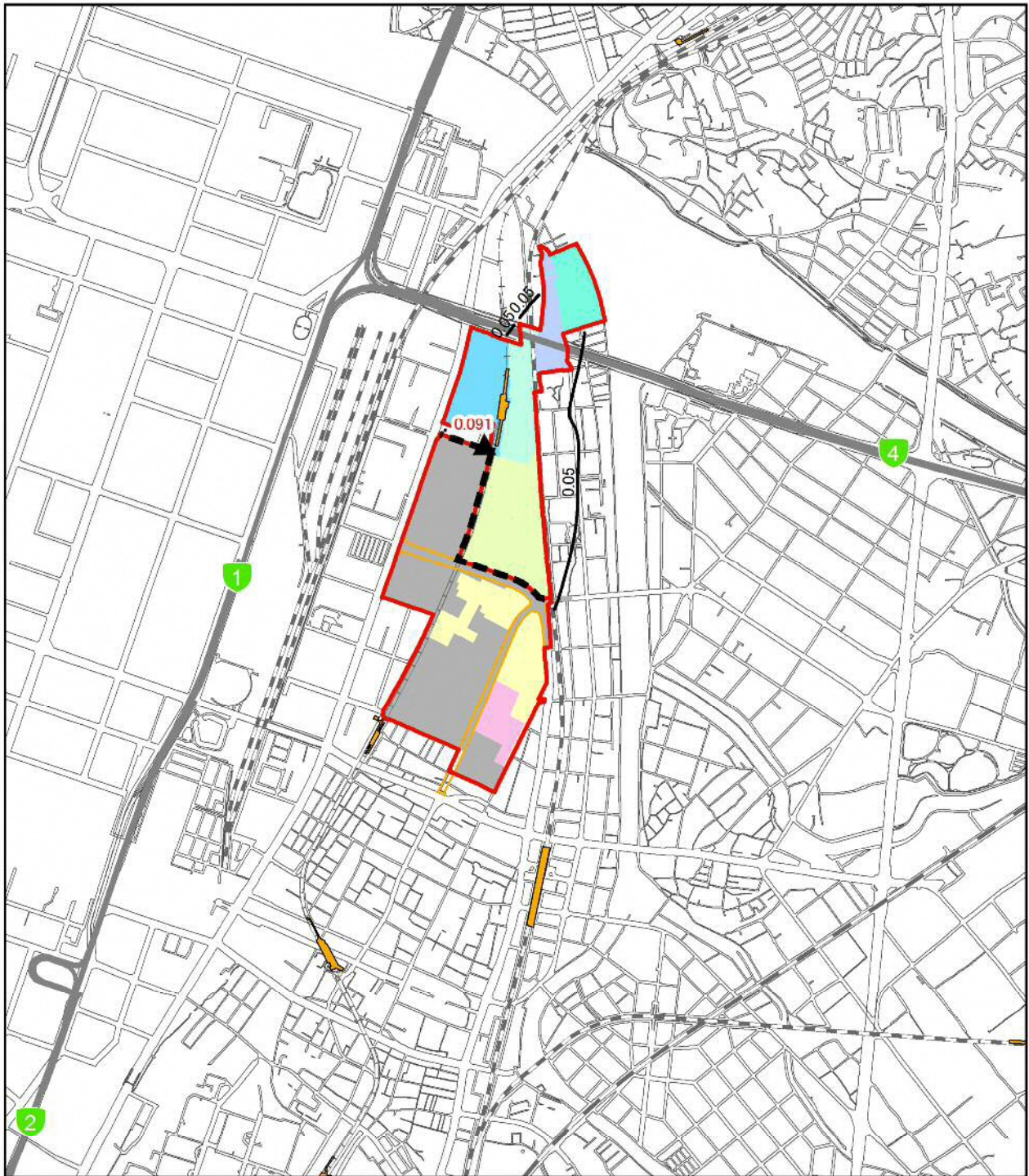
1:20,000



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
— 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1 (3) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SW 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

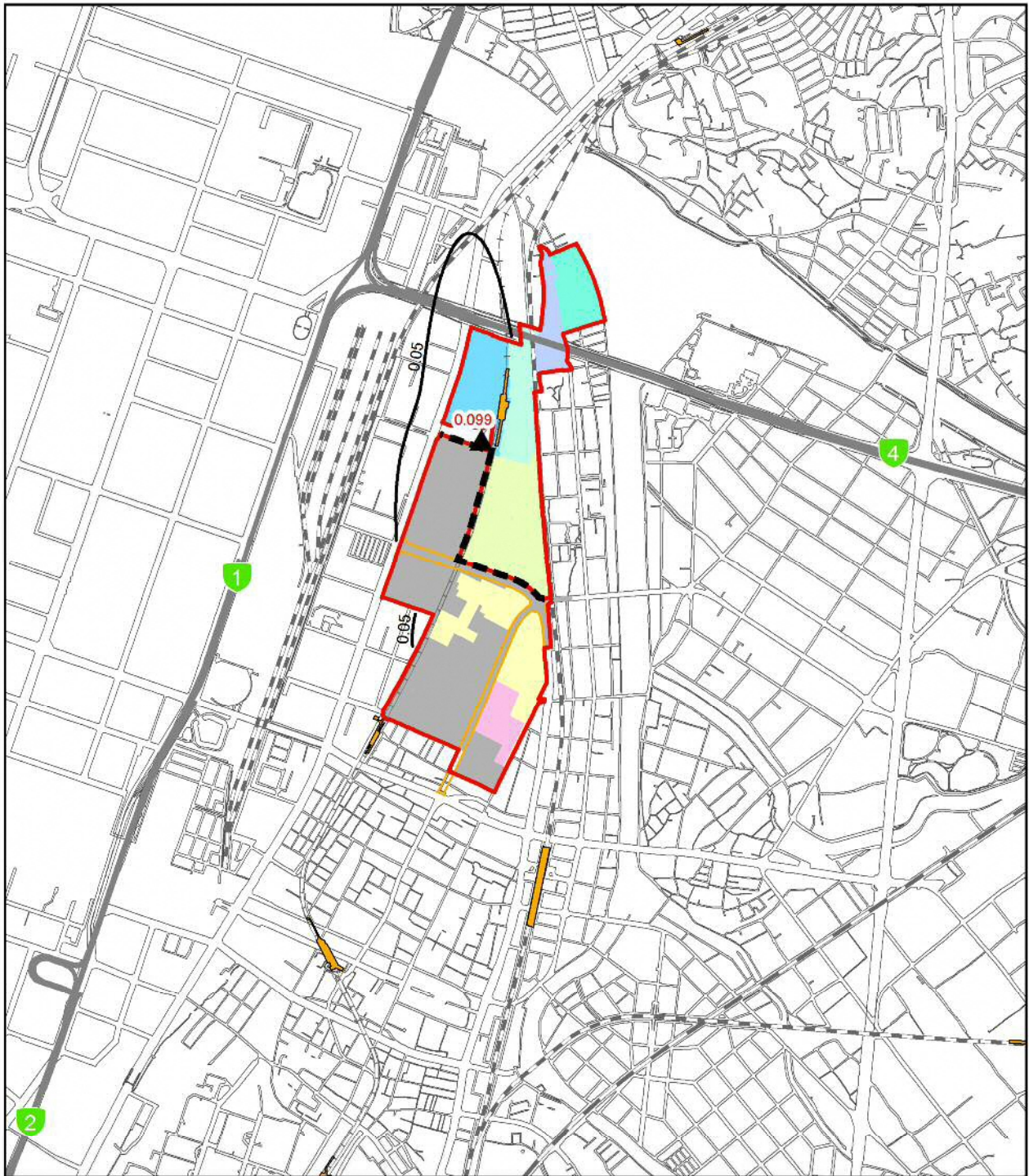
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向SSW 大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1(4) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向SSW 大気安定度D



凡例

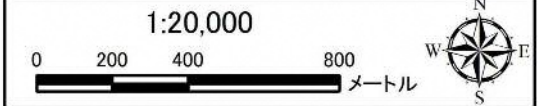
- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

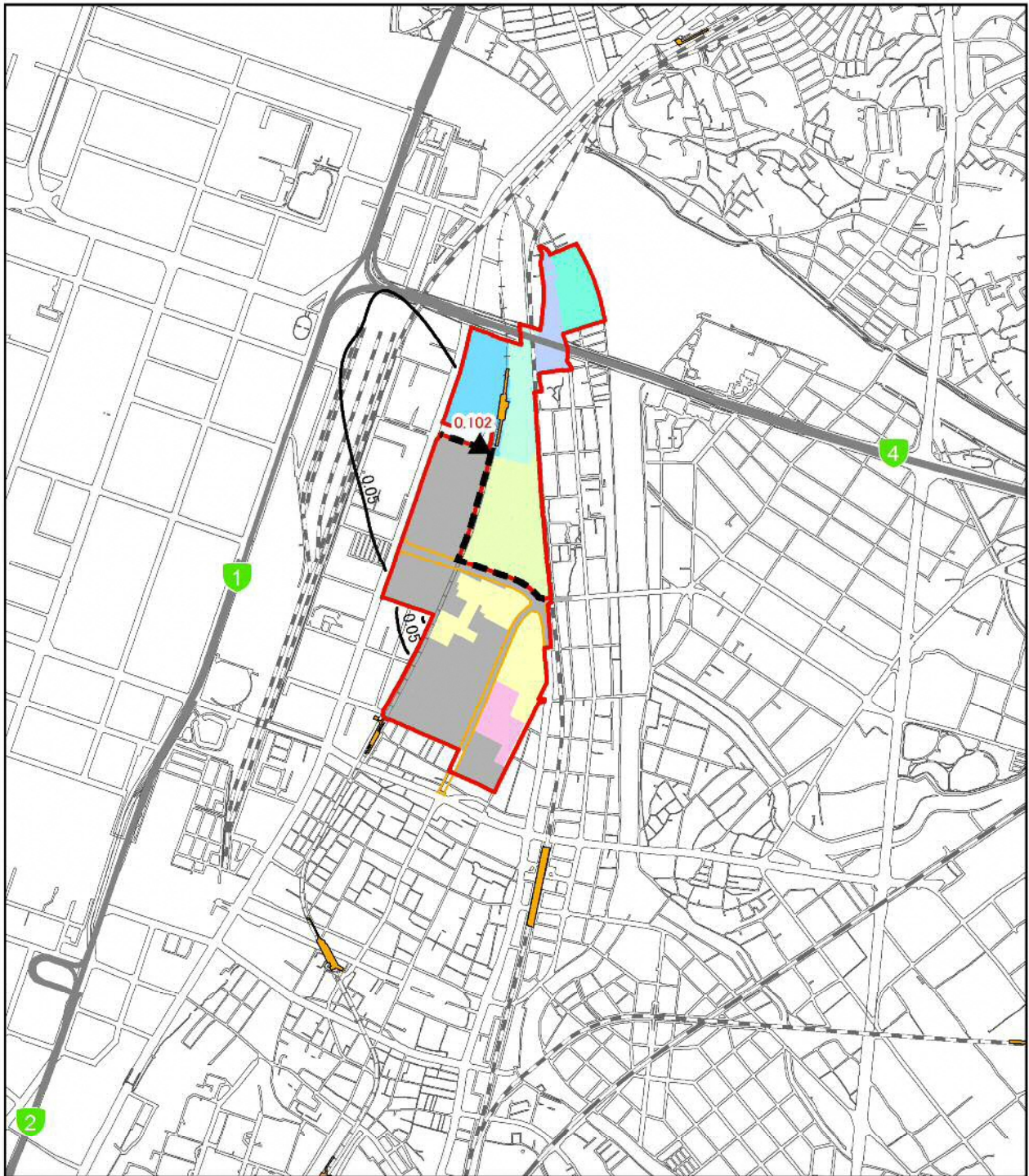
- 2021年度



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向S大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
 バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1(5) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
 (1時間値):風向S大気安定度D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

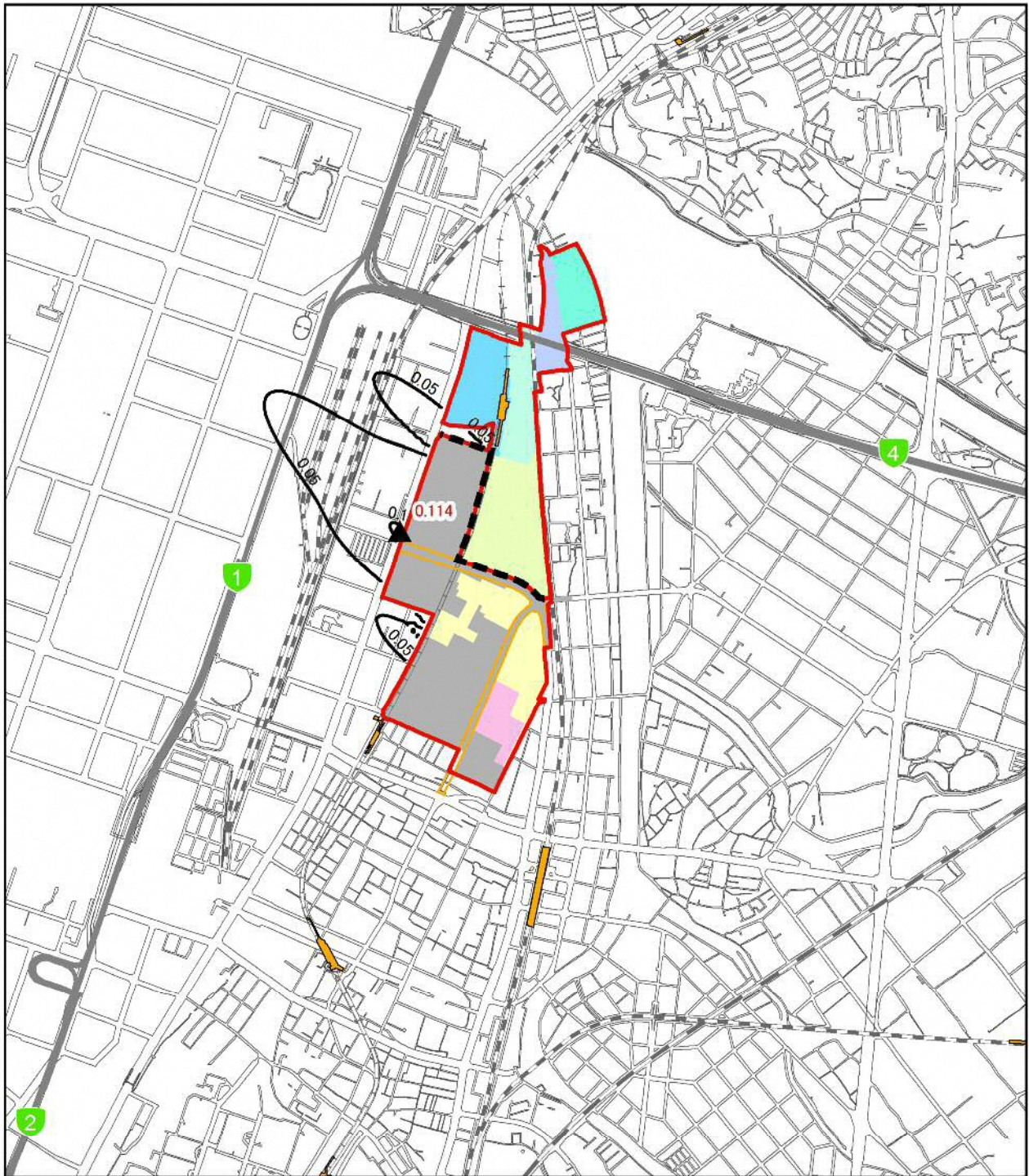
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 SSE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³ である。

図 1-1(6) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SSE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

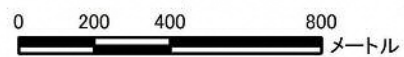
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

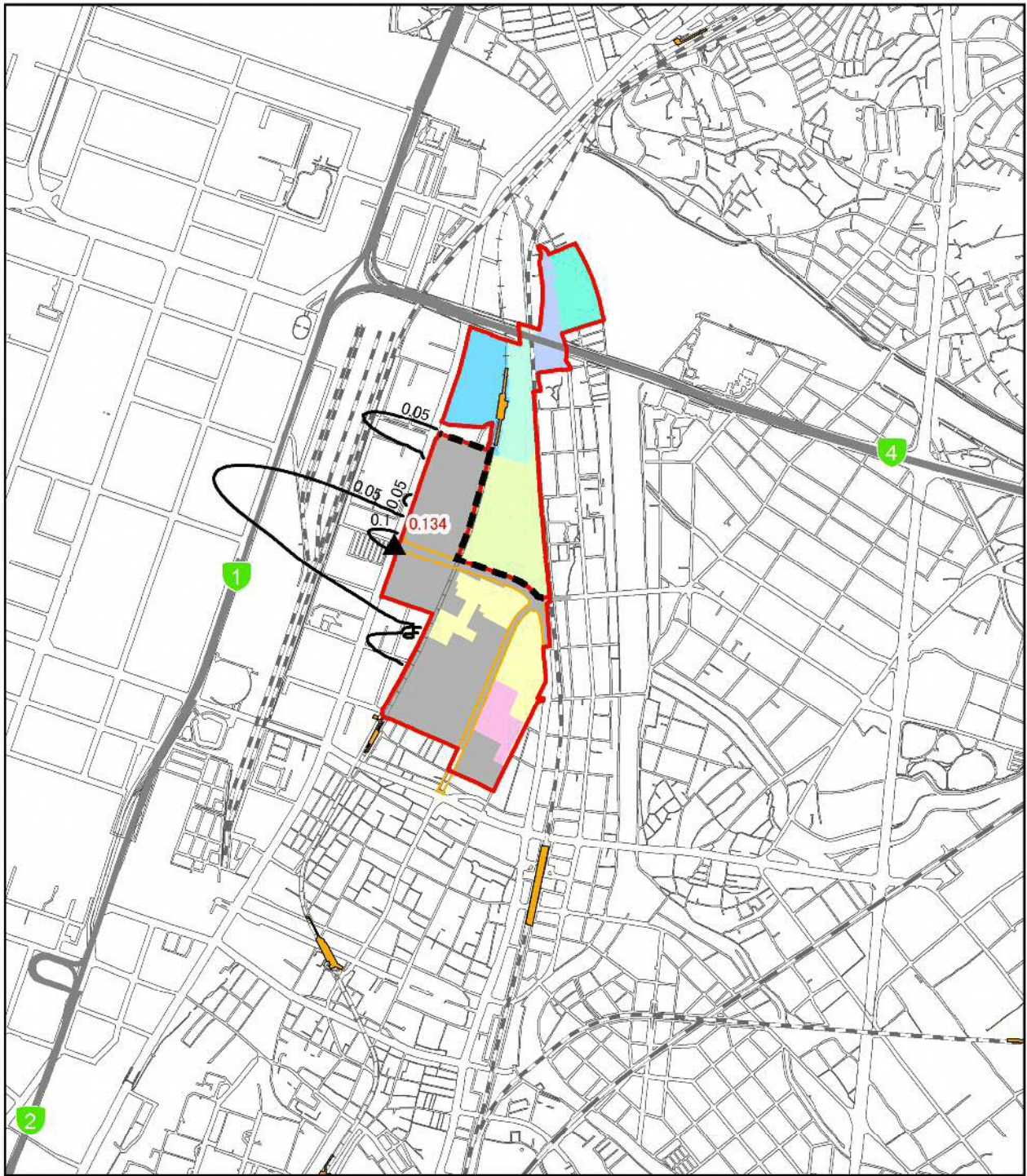
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 SE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1 (7) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

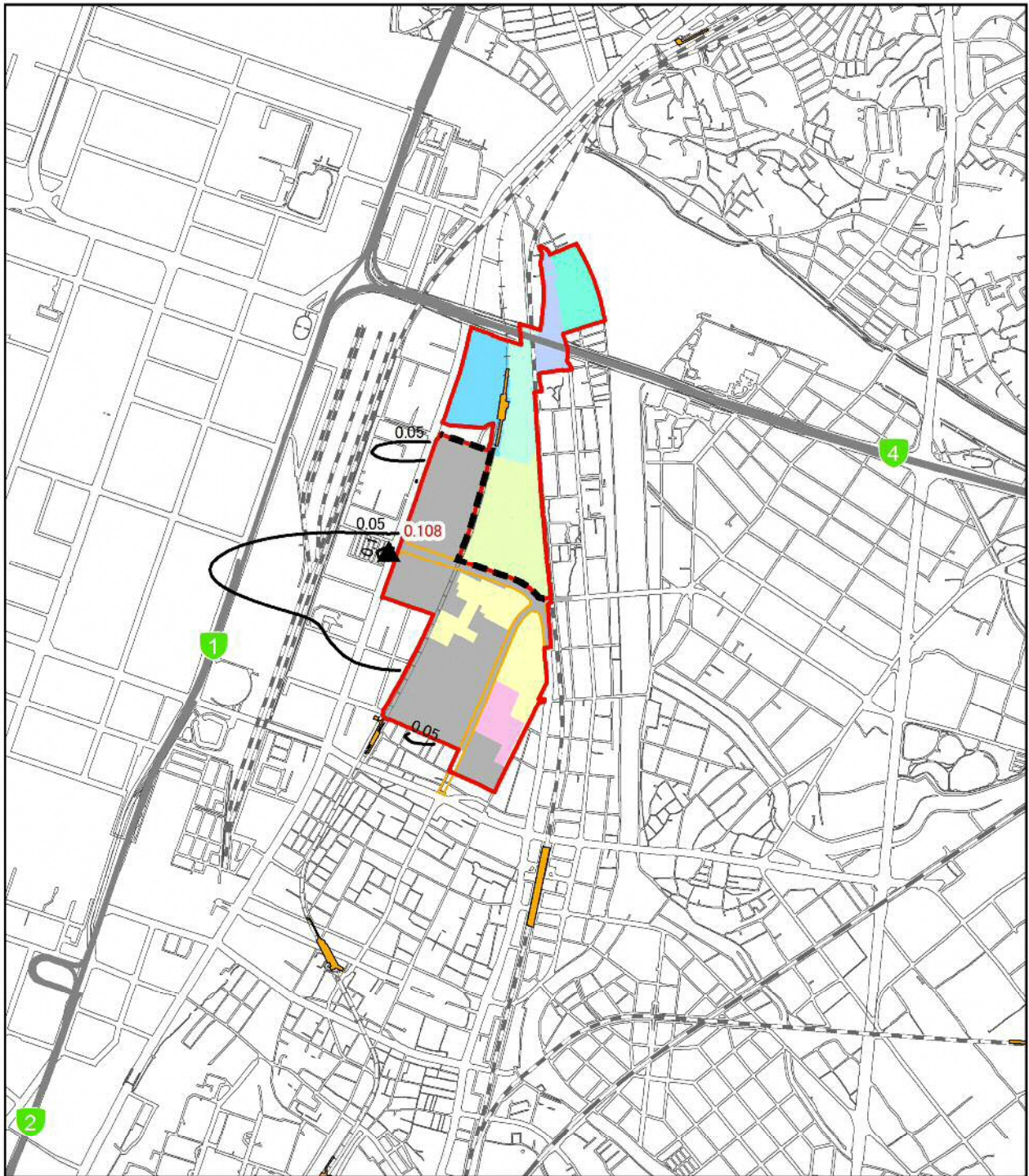
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 ESE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³ である。

図 1-1 (8) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 ESE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

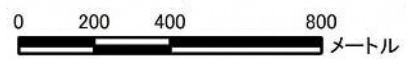
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

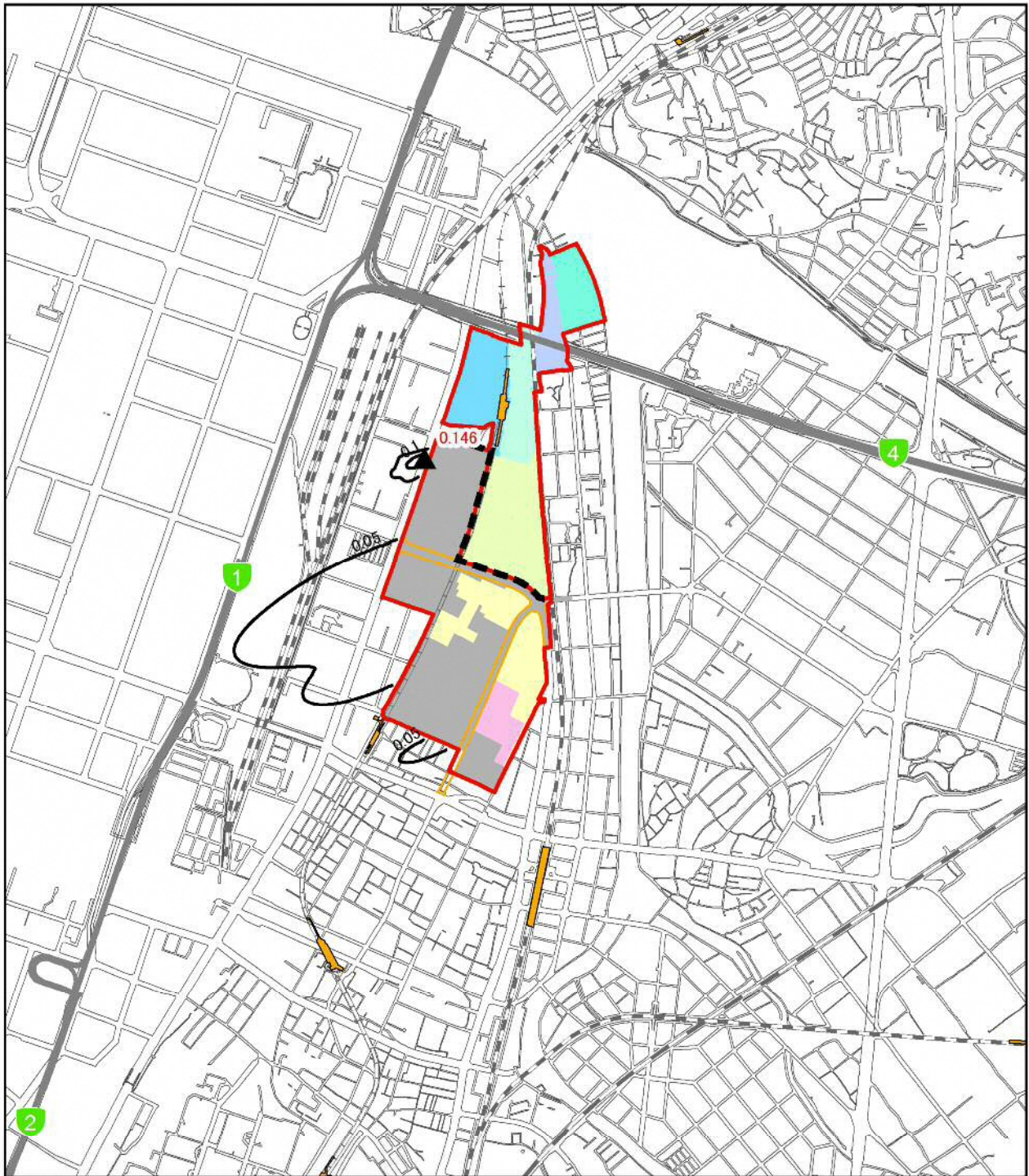
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向E大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1 (9) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向E大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

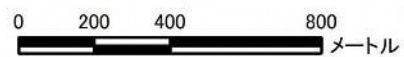
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

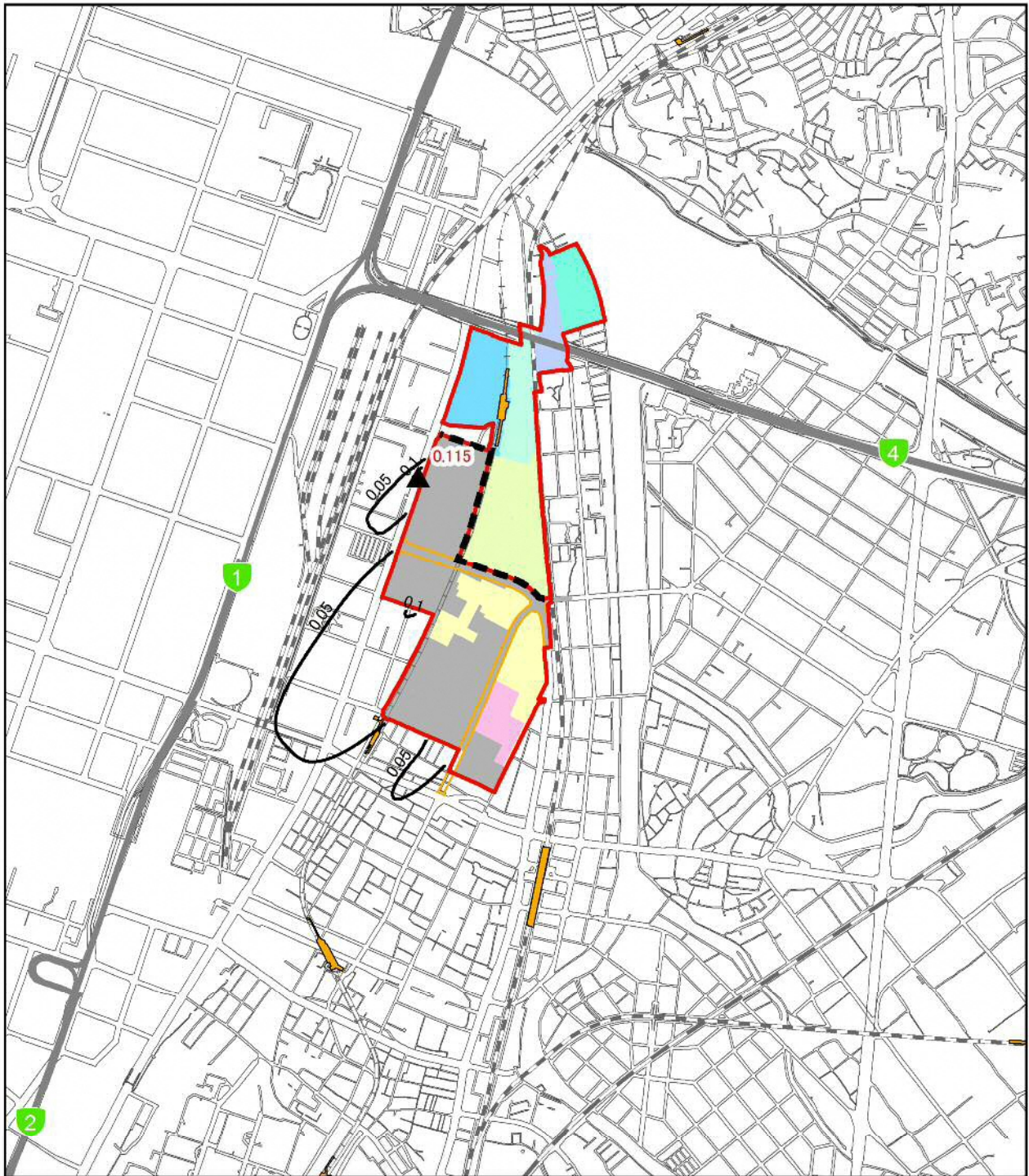
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 ENE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³ である。

図 1-1 (10) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 ENE 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

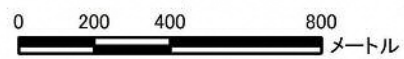
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

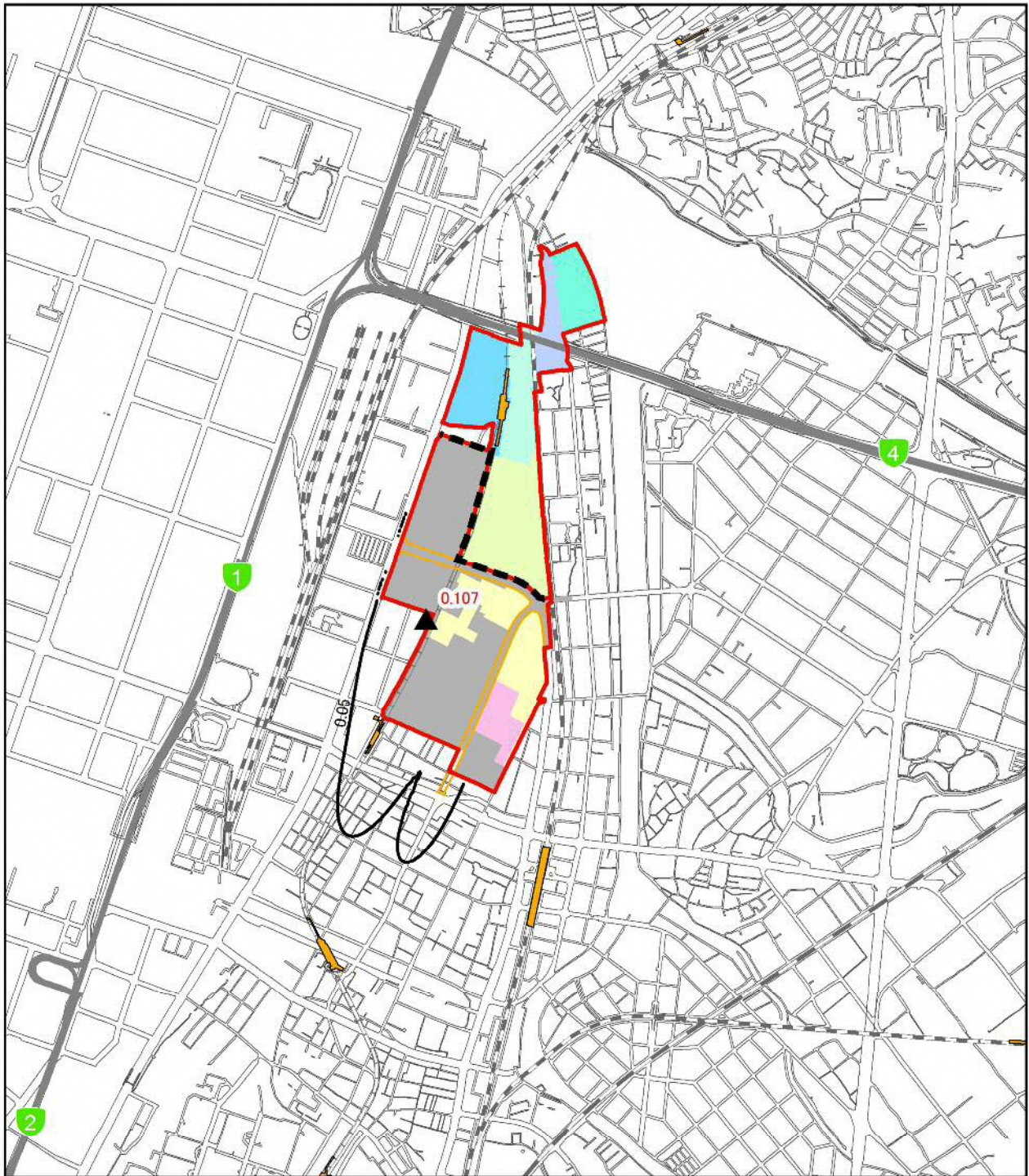
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 NE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³である。

図 1-1(11) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NE 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

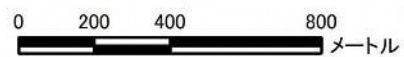
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

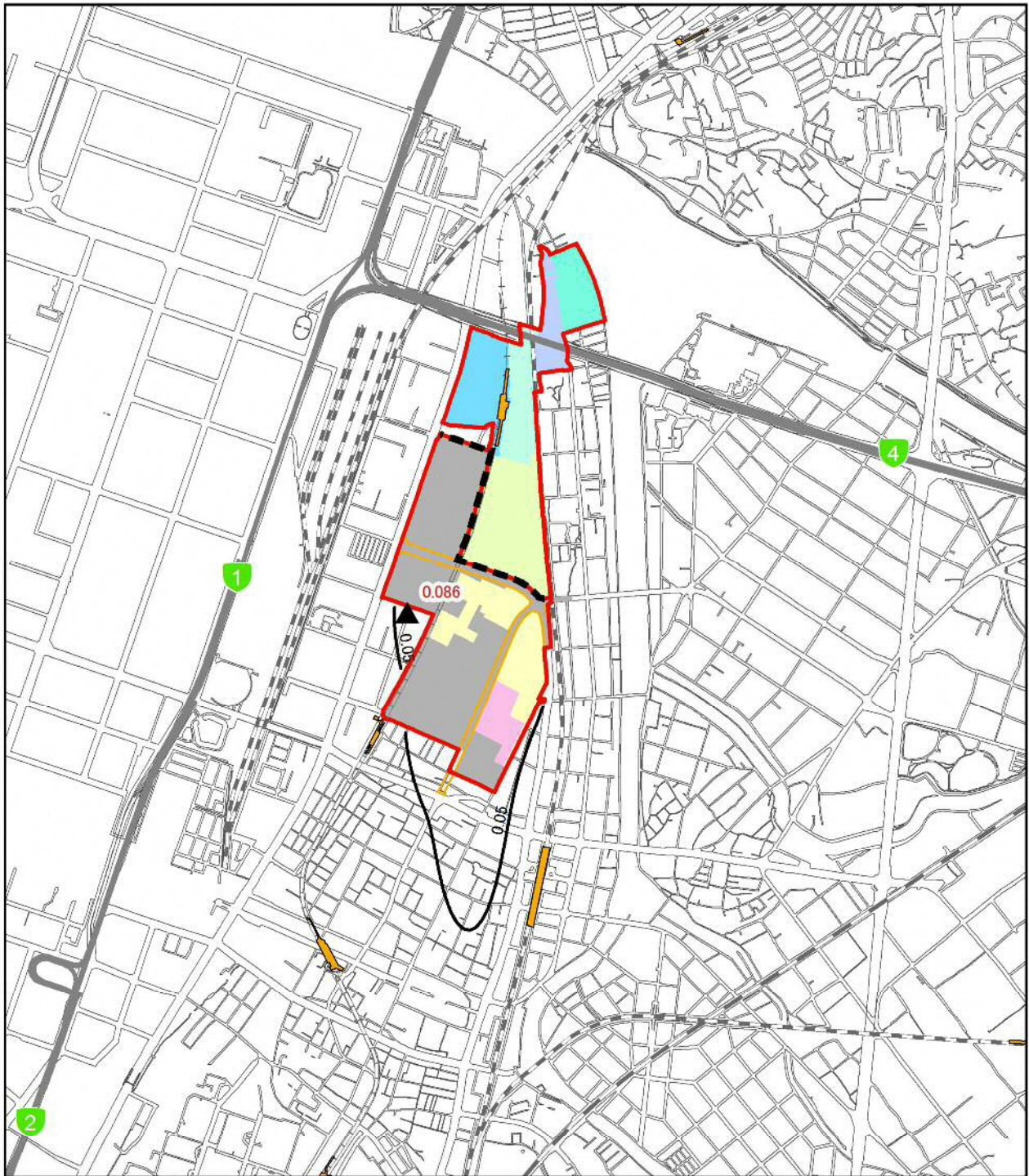
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 NNE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033mg/m³である。

図 1-1(12) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NNE 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

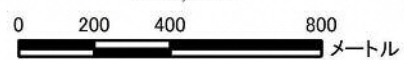
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

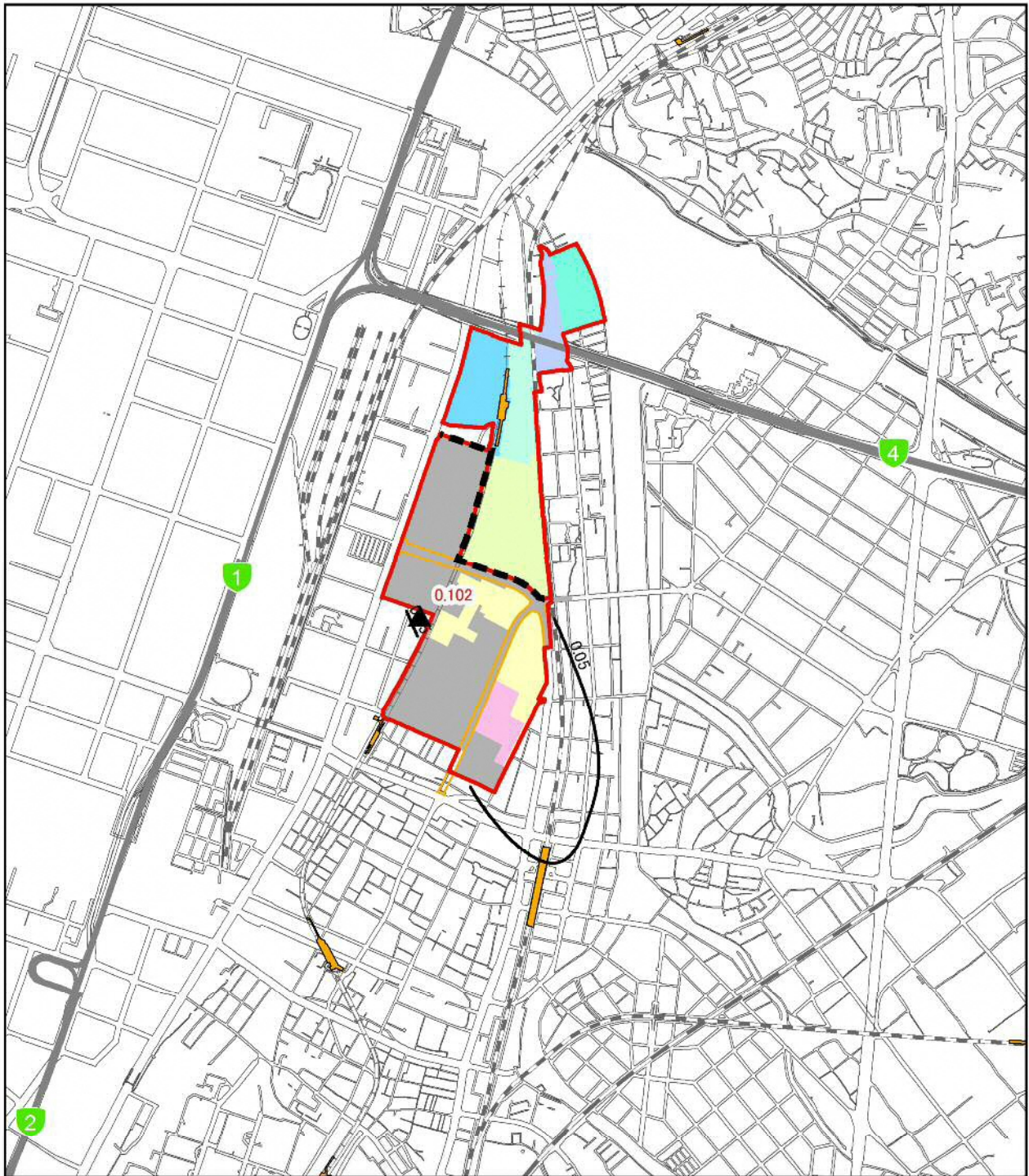
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 N 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³である。

図 1-1 (13) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 N 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000

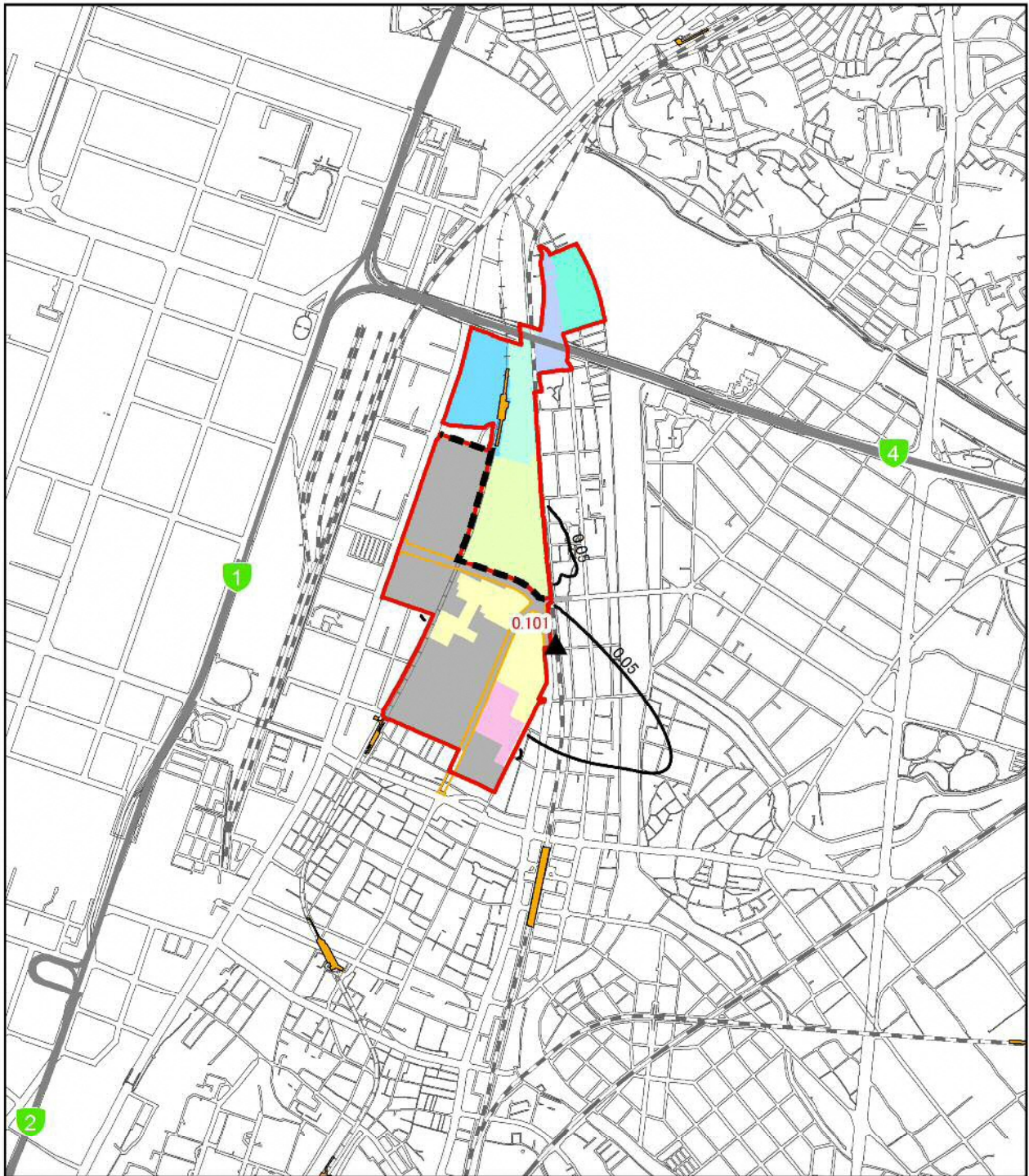
0 200 400 800メートル



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 二酸化窒素濃度(mg/m³):風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
 バックグラウンド濃度は 0.033mg/m³である。

図 1-1 (14) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
 (1時間値):風向 NNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

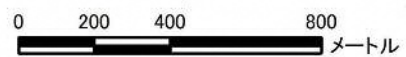
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

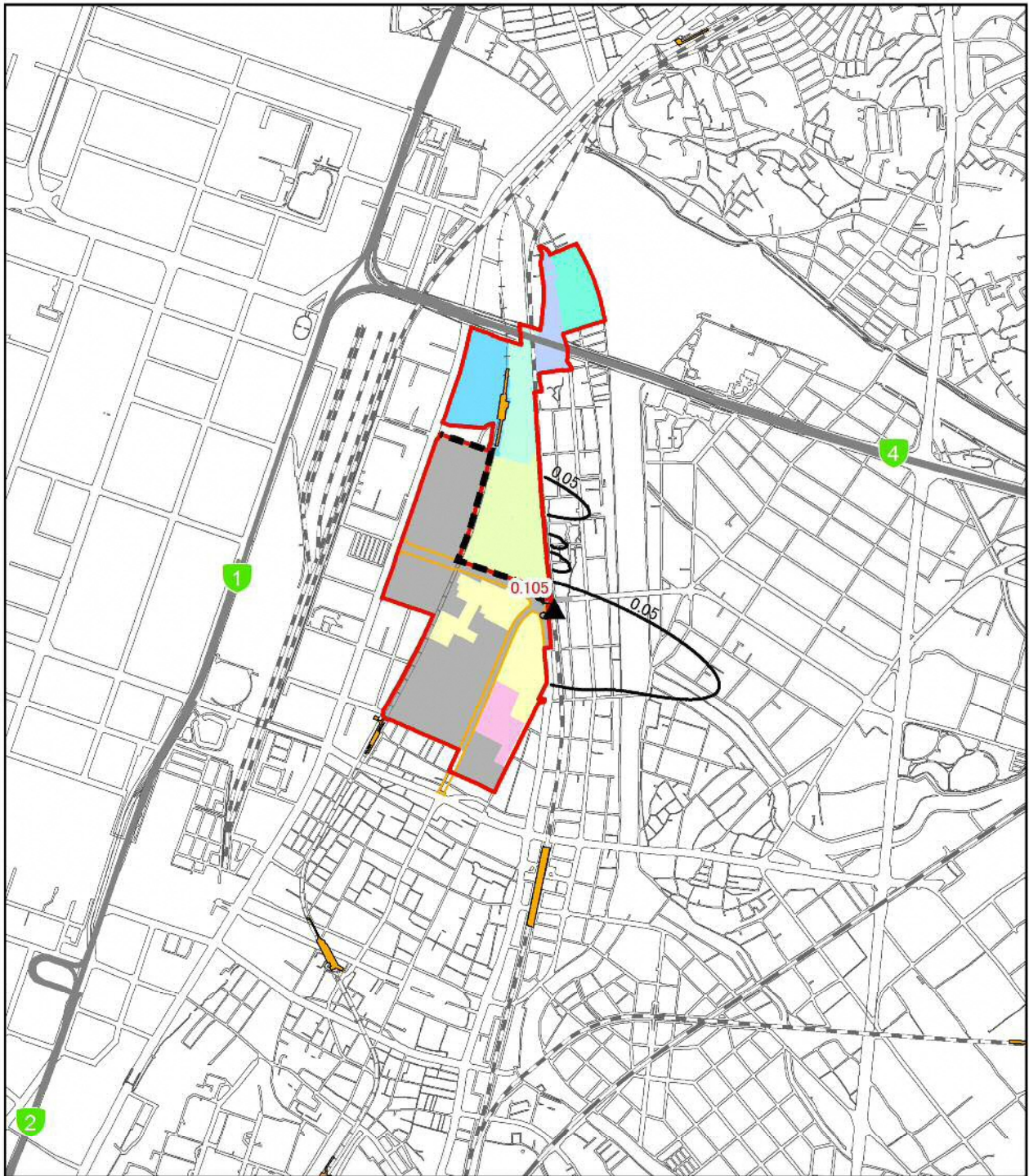
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 NW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-1 (15) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NW 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

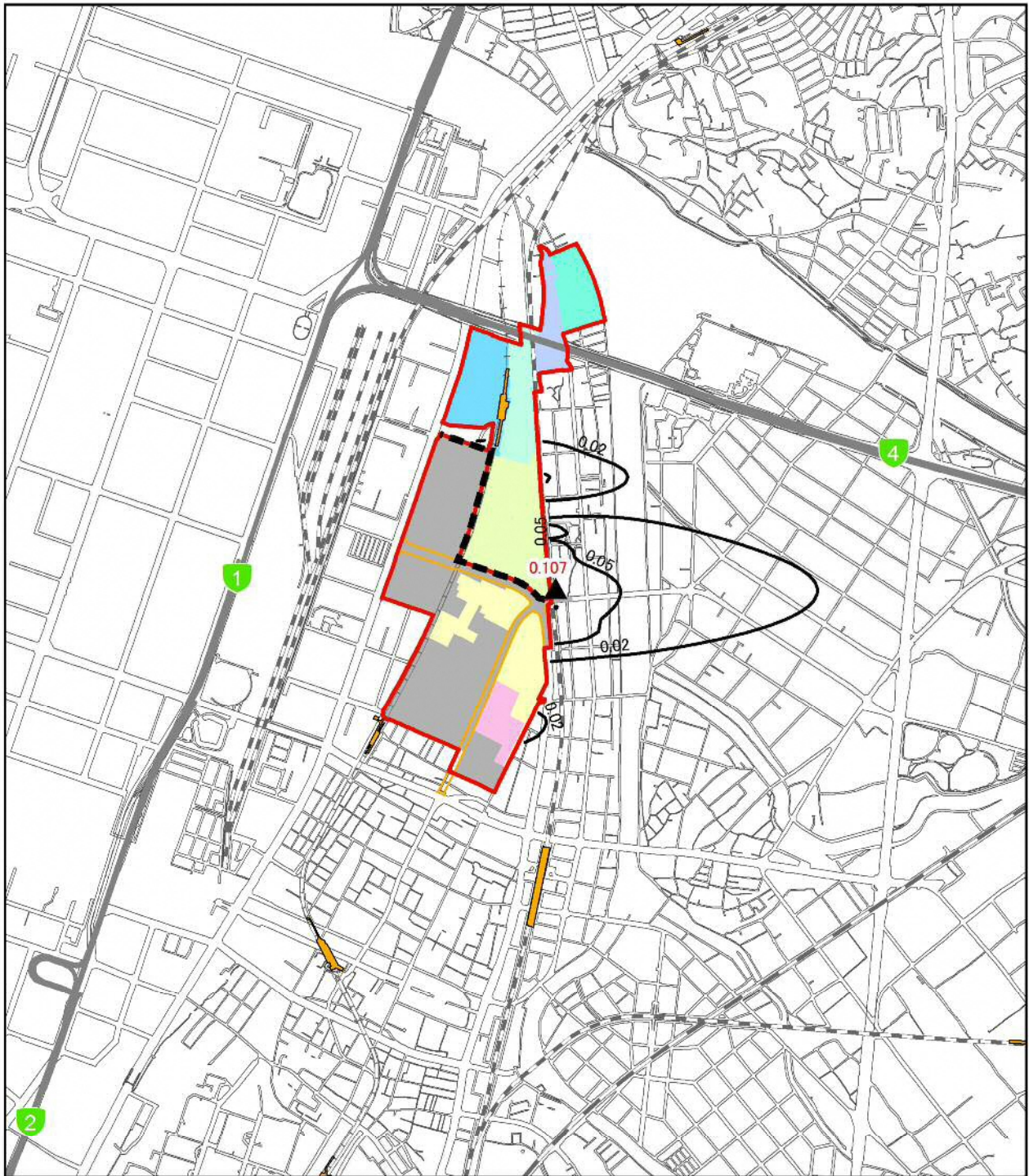
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 WNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-1 (16) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 WNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

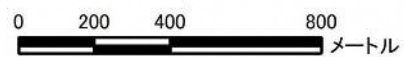
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

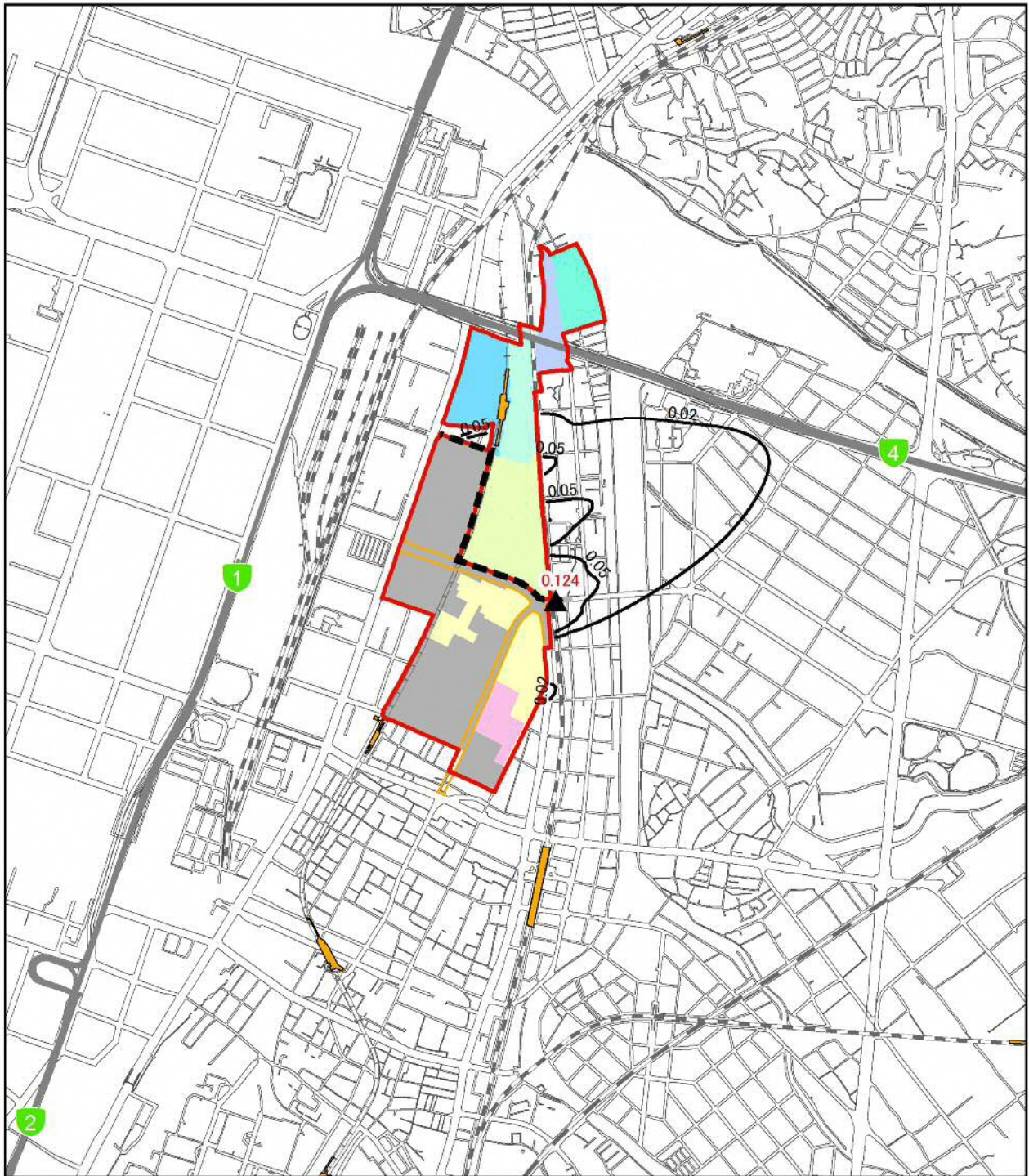
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 W 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(1) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 W 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

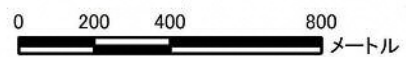
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

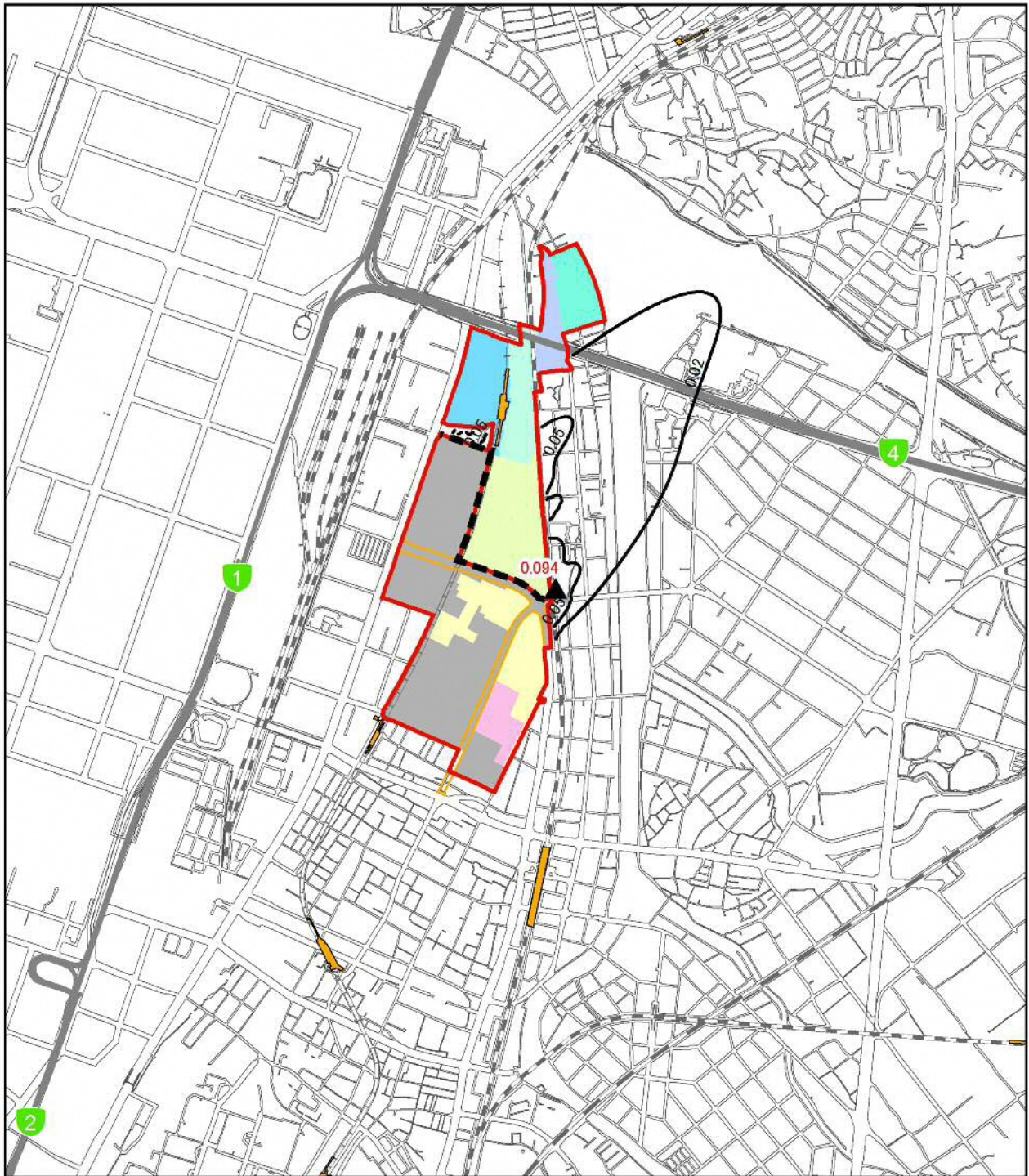
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 WSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(2) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 WSW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

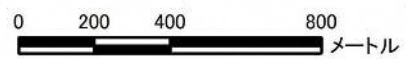
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

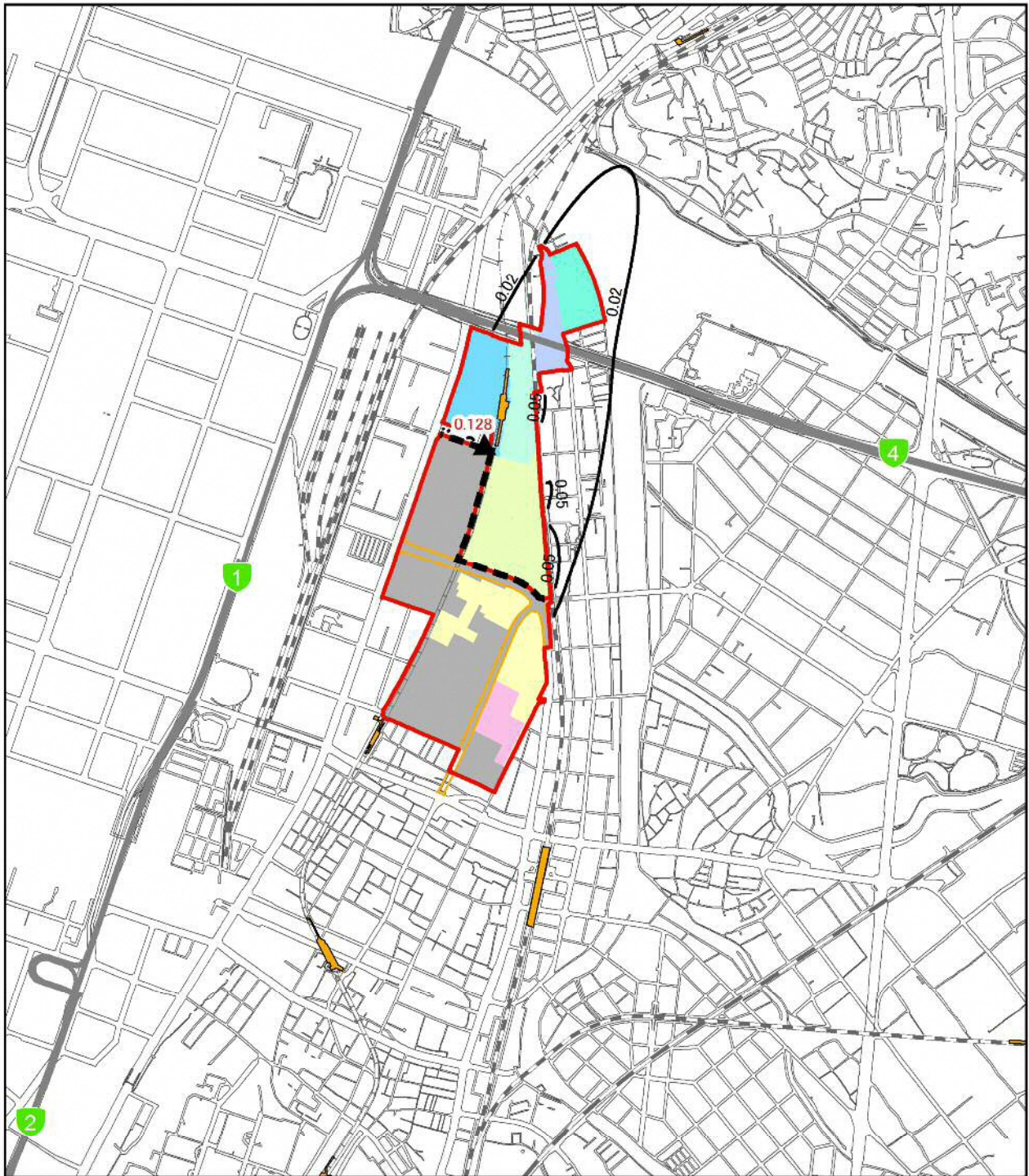
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(3) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SW 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

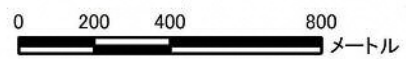
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

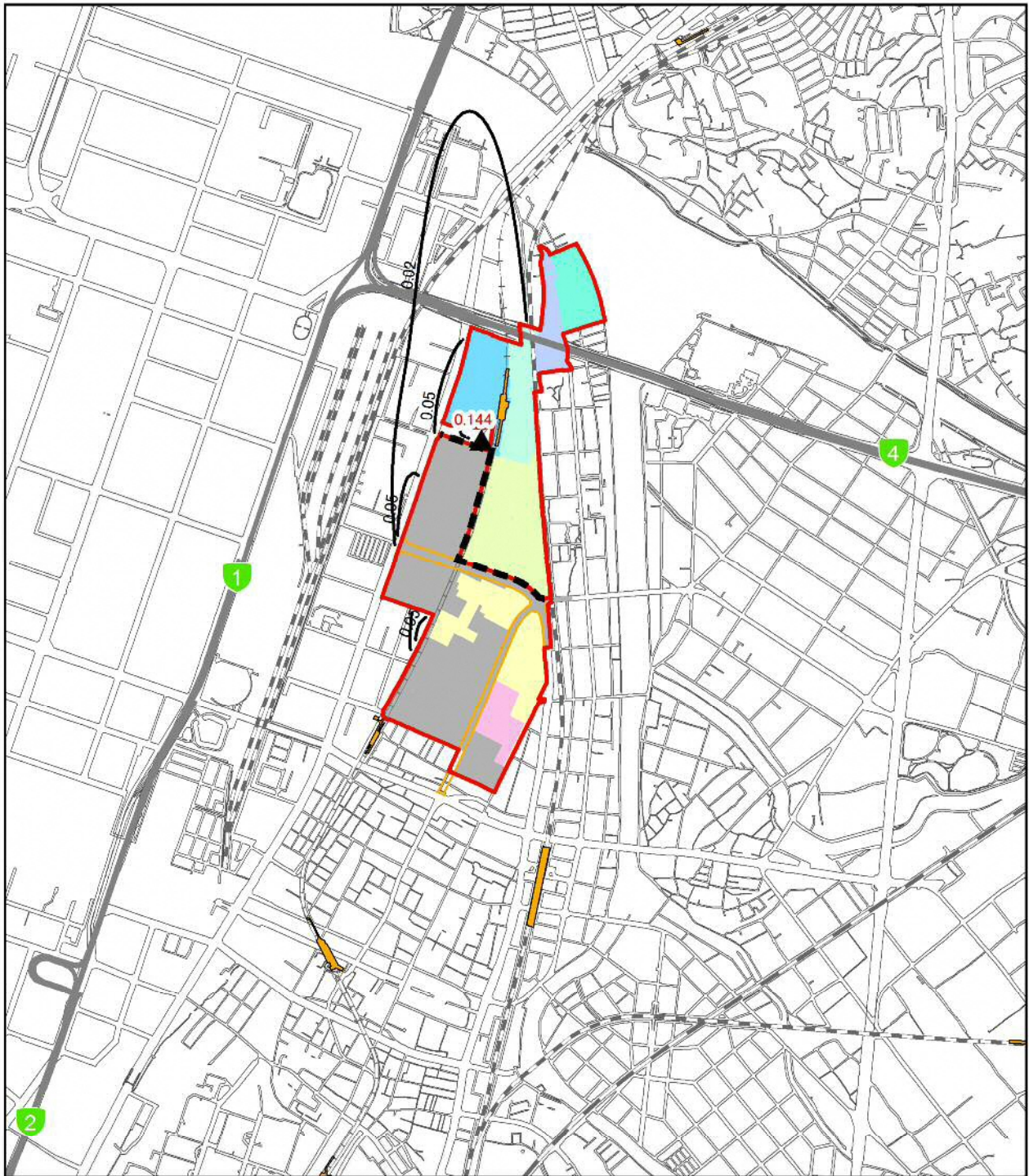
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 SSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(4) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SSW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

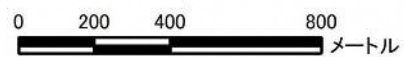
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

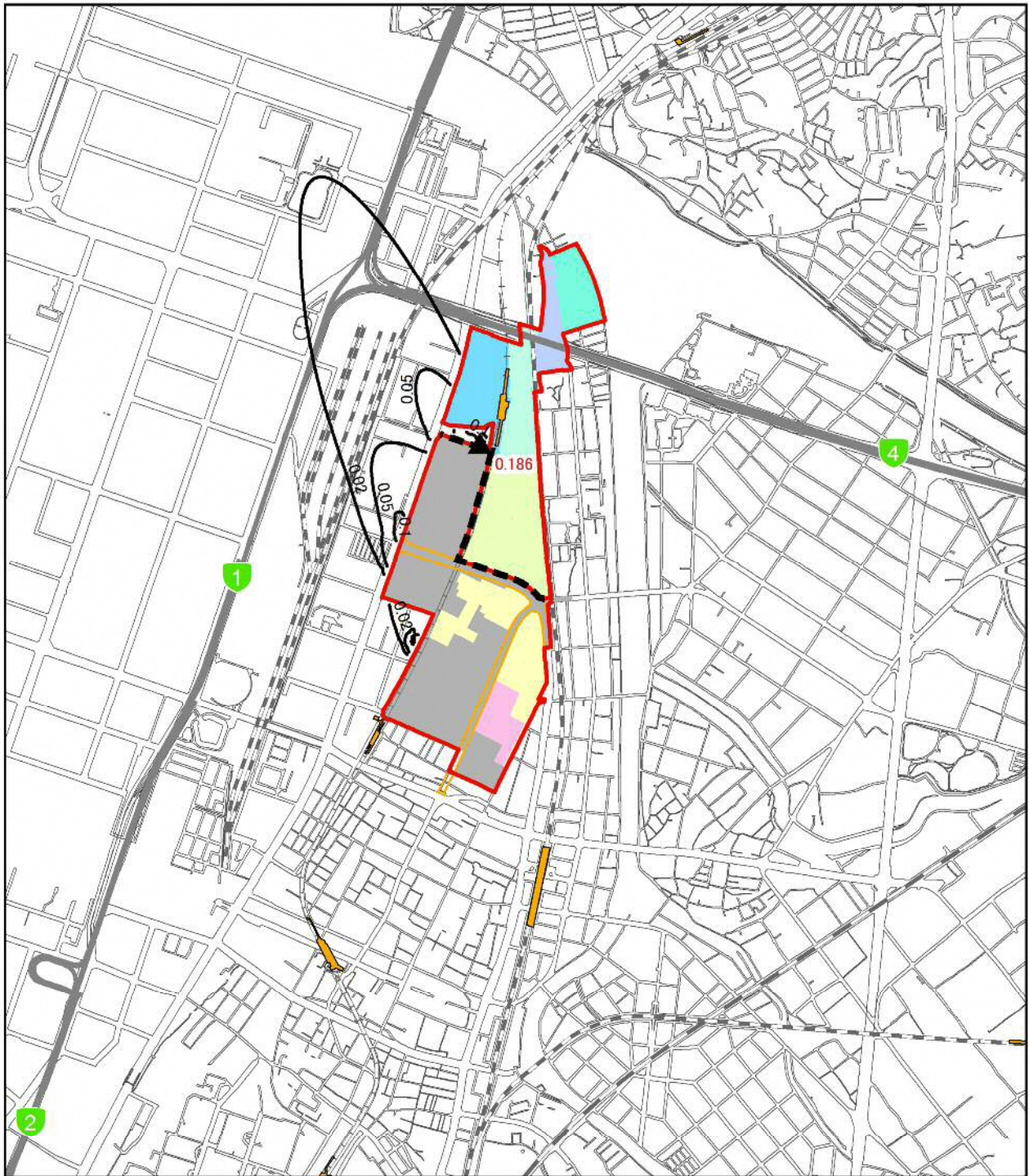
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向S大気安定度D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(5) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向S大気安定度D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

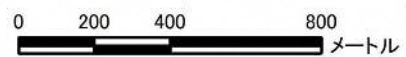
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

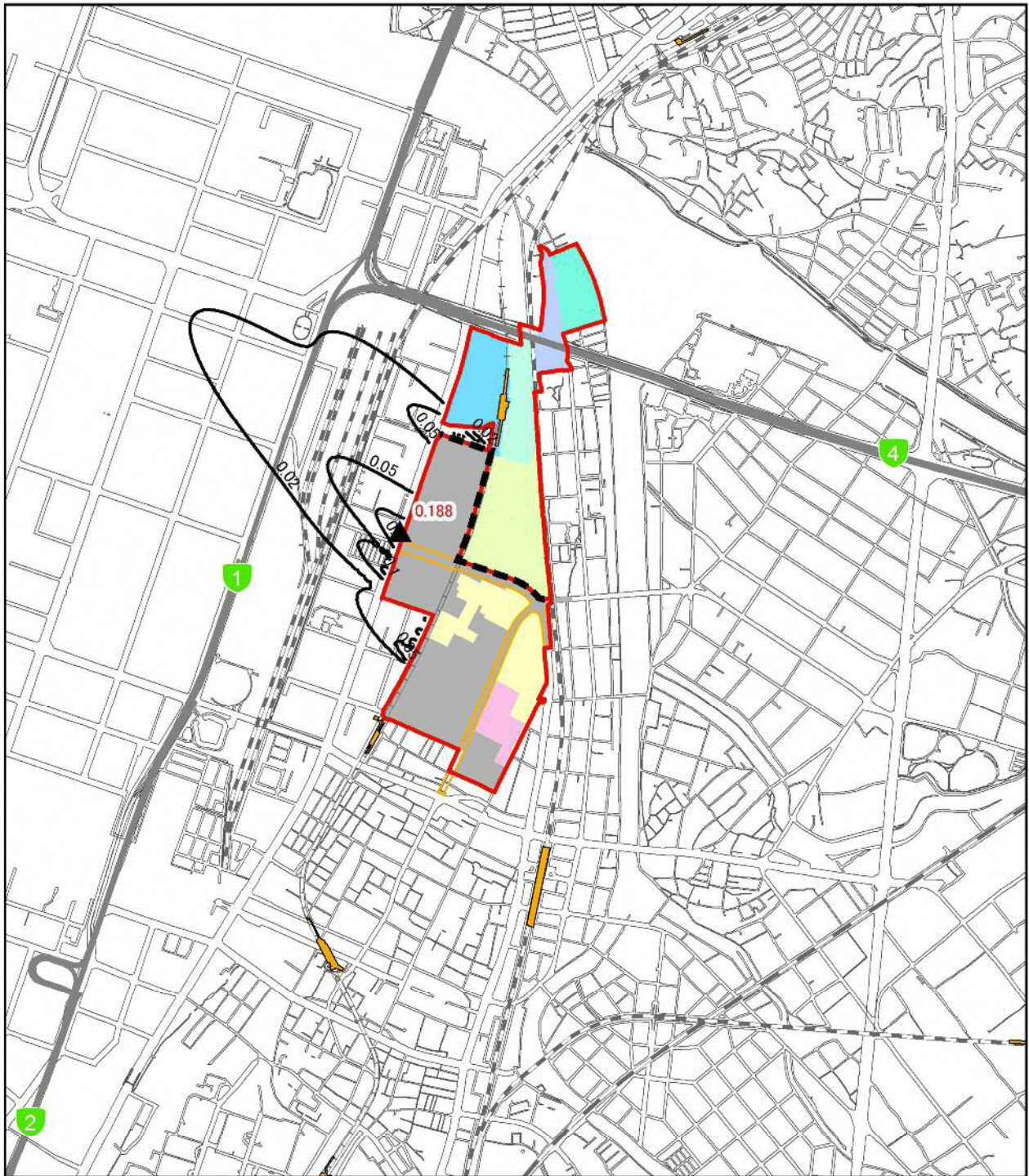
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 SSE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(6) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SSE 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

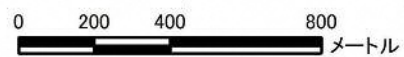
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

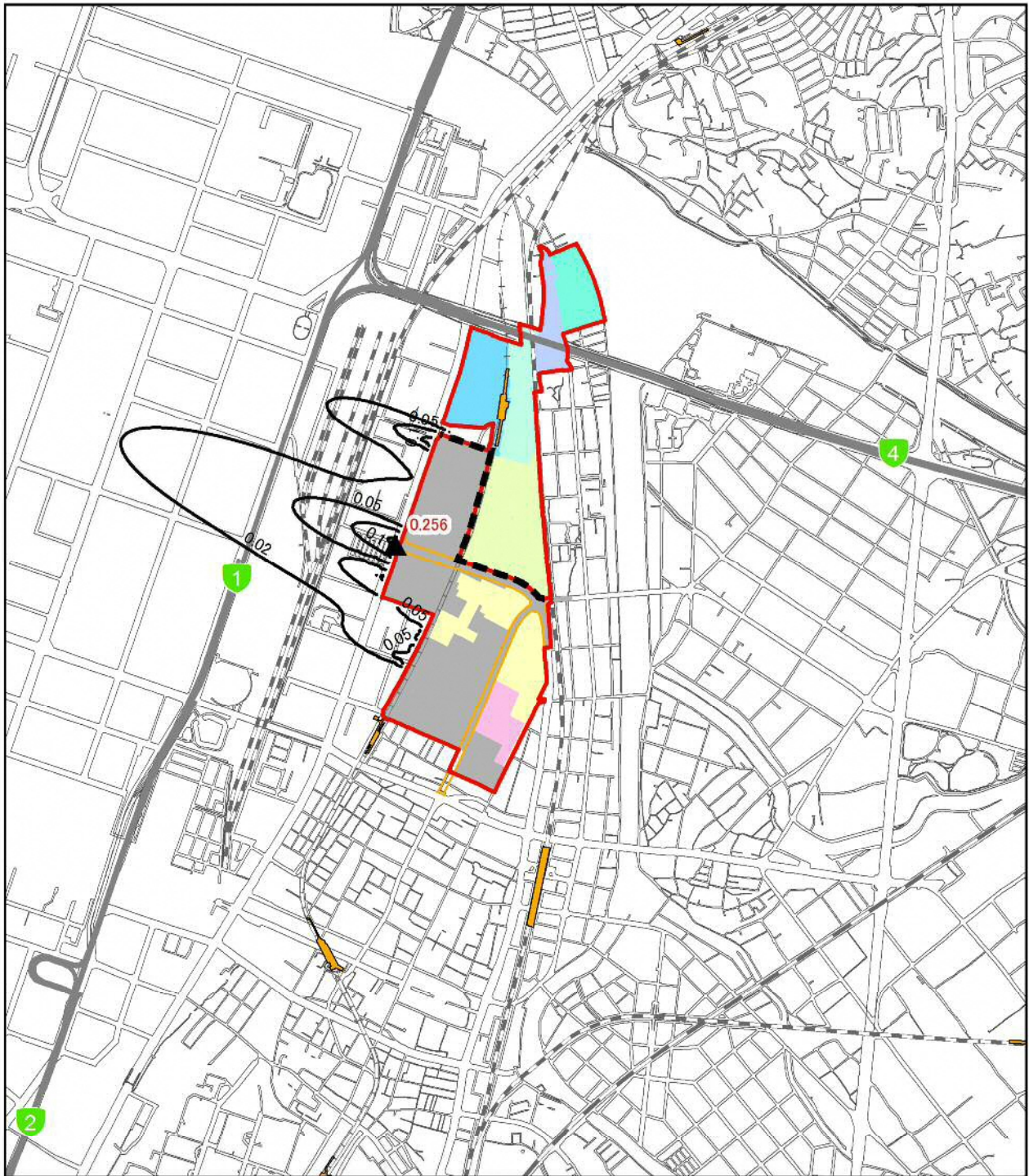
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 SE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(7) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

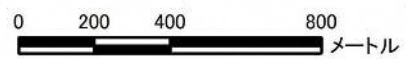
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

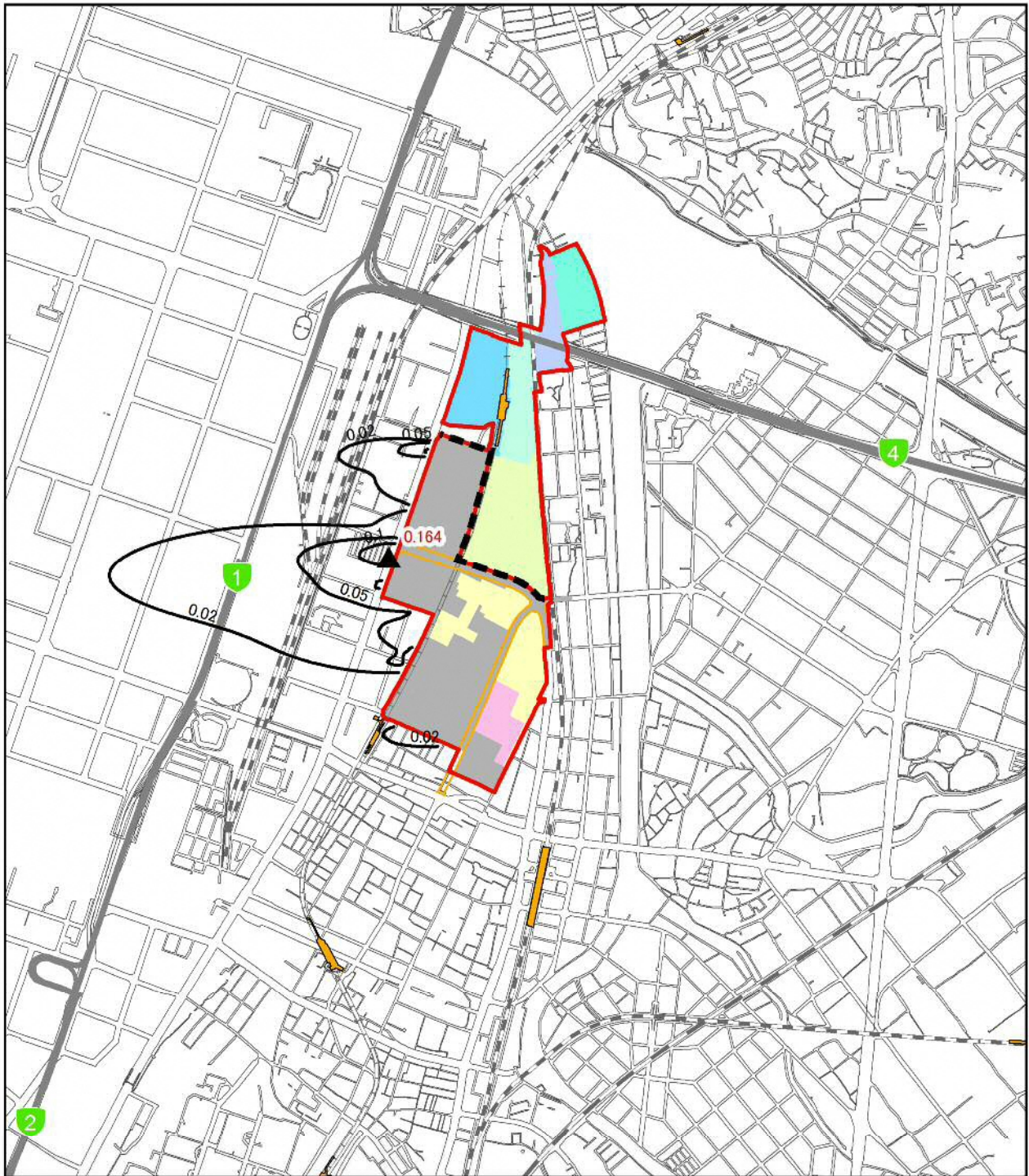
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 ESE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(8) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 ESE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

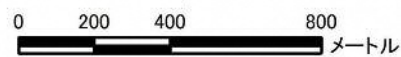
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

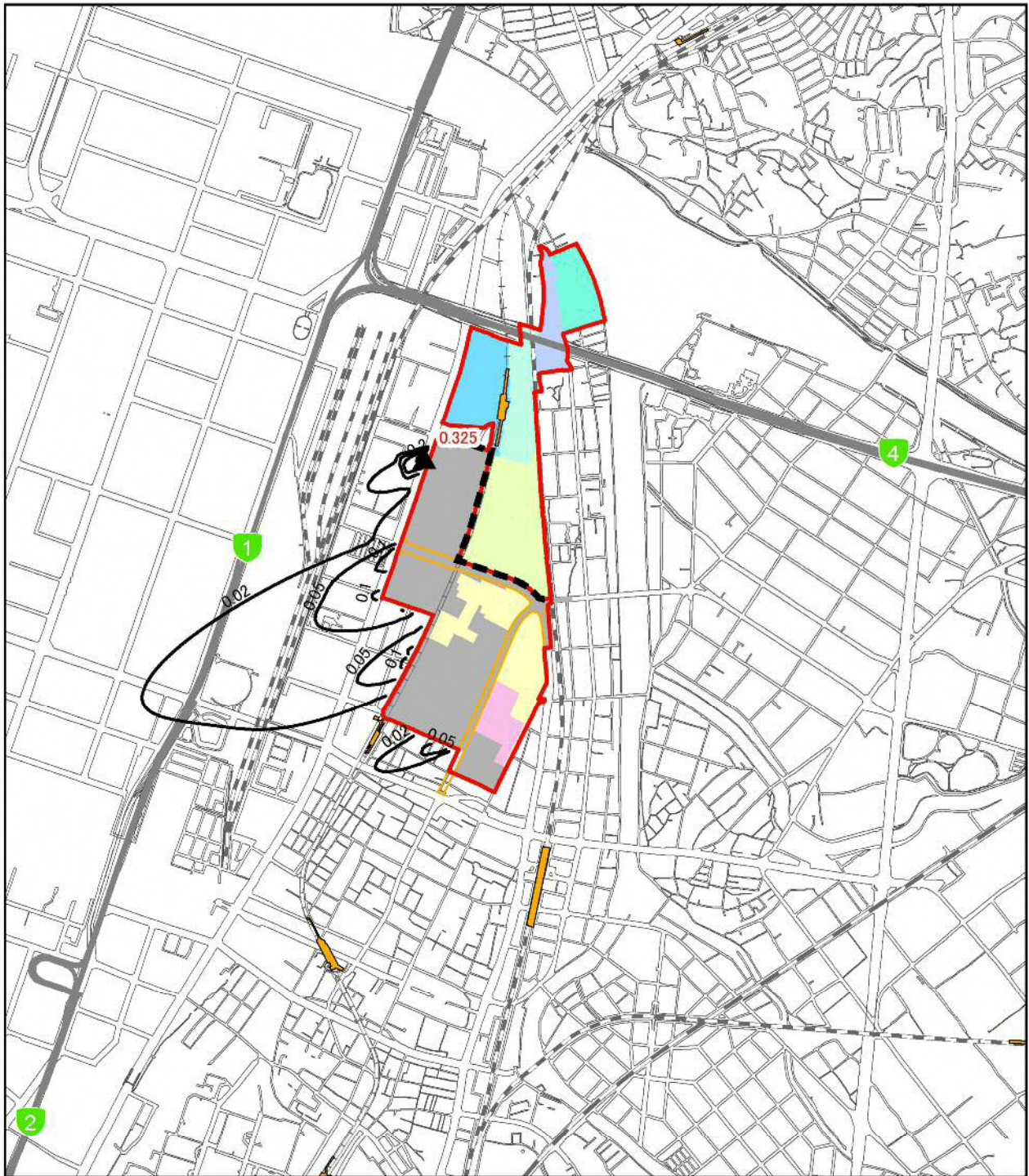
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 E 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(9) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 E 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

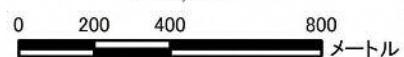
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

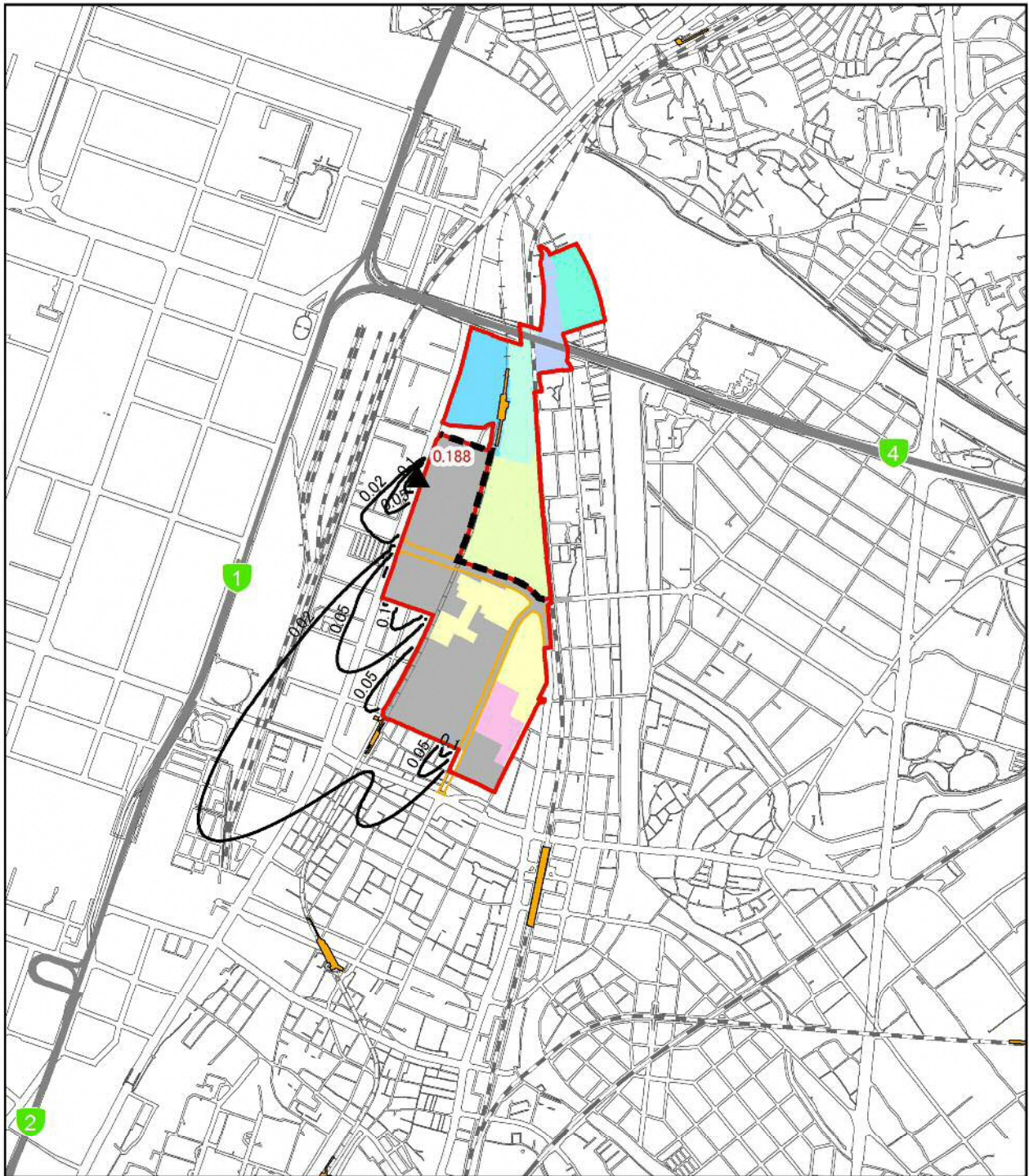
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 ENE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m³である。

図 1-2(10) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 ENE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

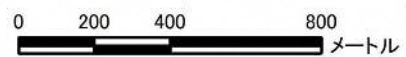
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

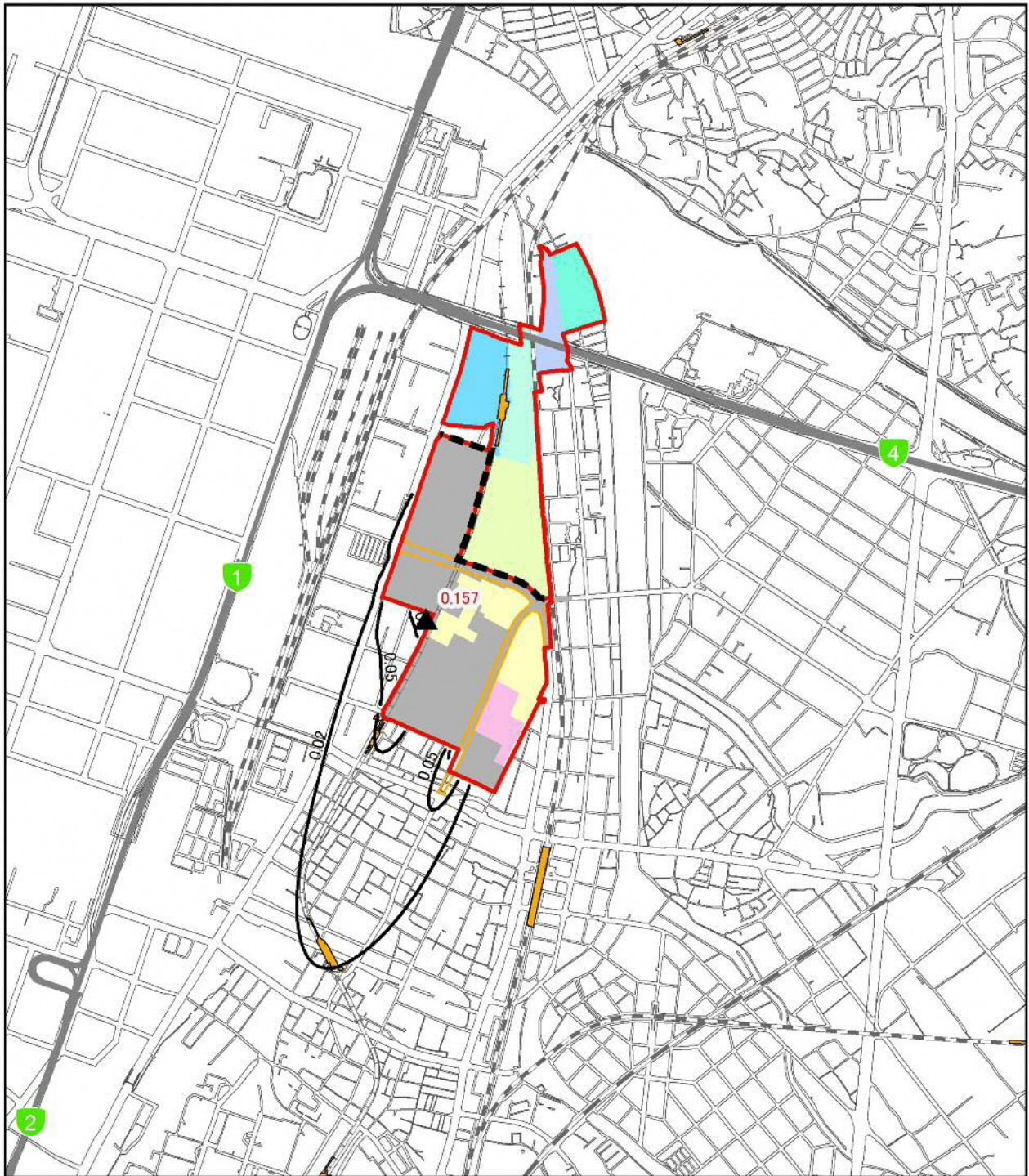
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 NE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(11) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

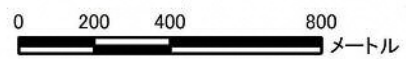
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

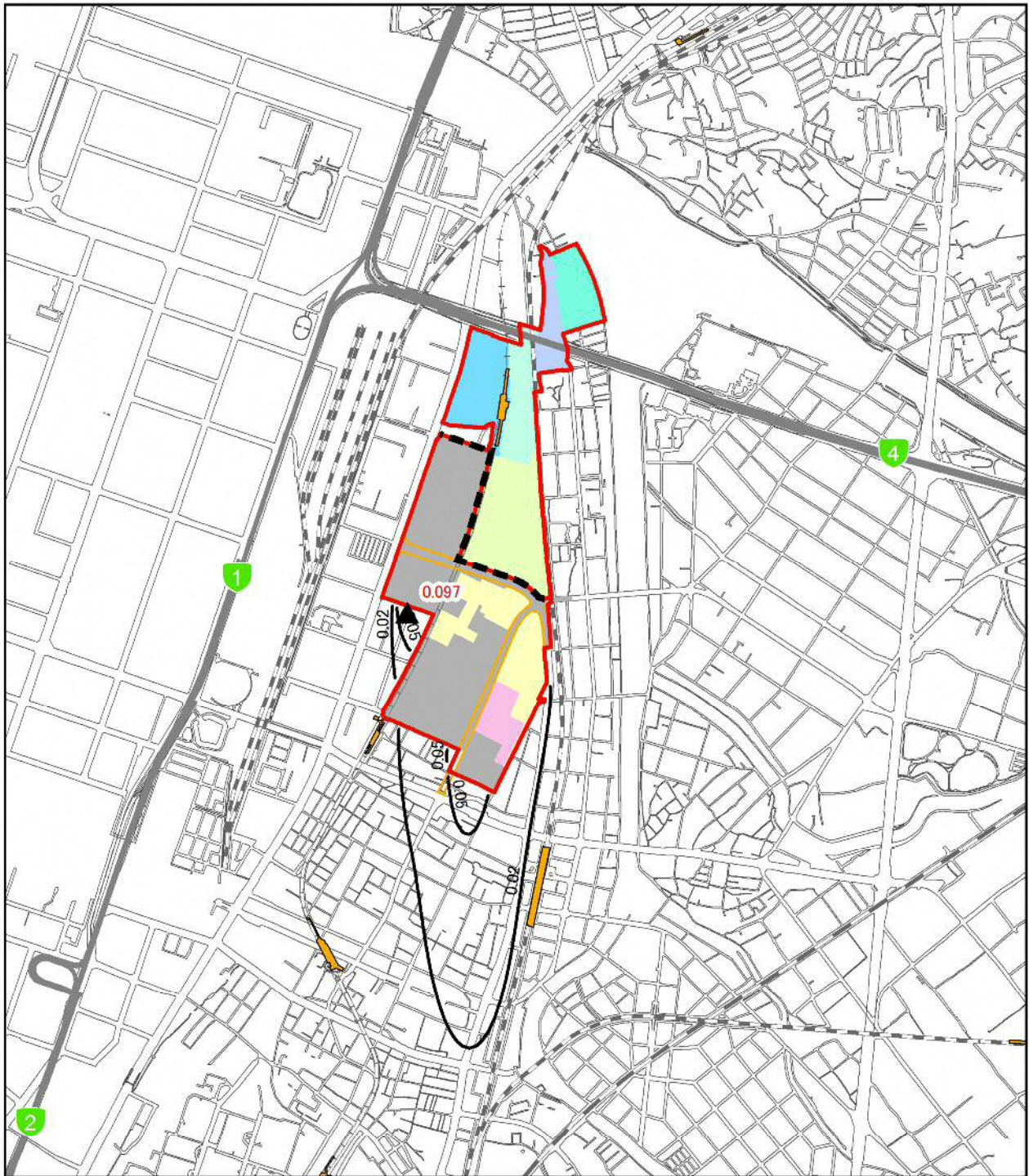
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 NNE 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(12) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NNE 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

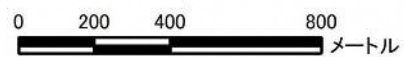
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

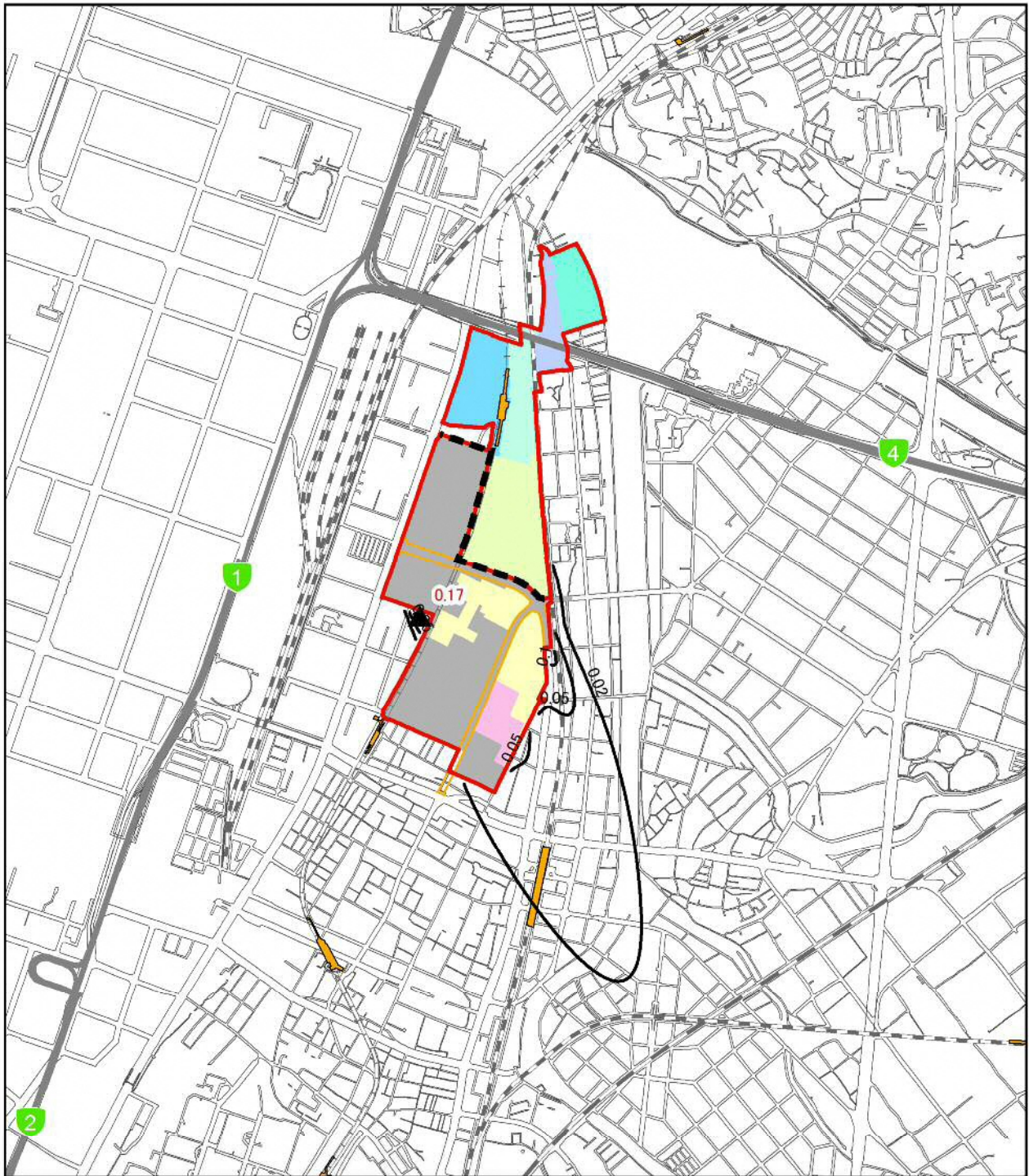
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 N 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m³ である。

図 1-2(13) 工事の実施（造成工事の実施）による浮遊粒子状物質（付加濃度）の予測結果
（1 時間値）：風向 N 大気安定度 D



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

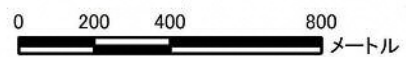
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

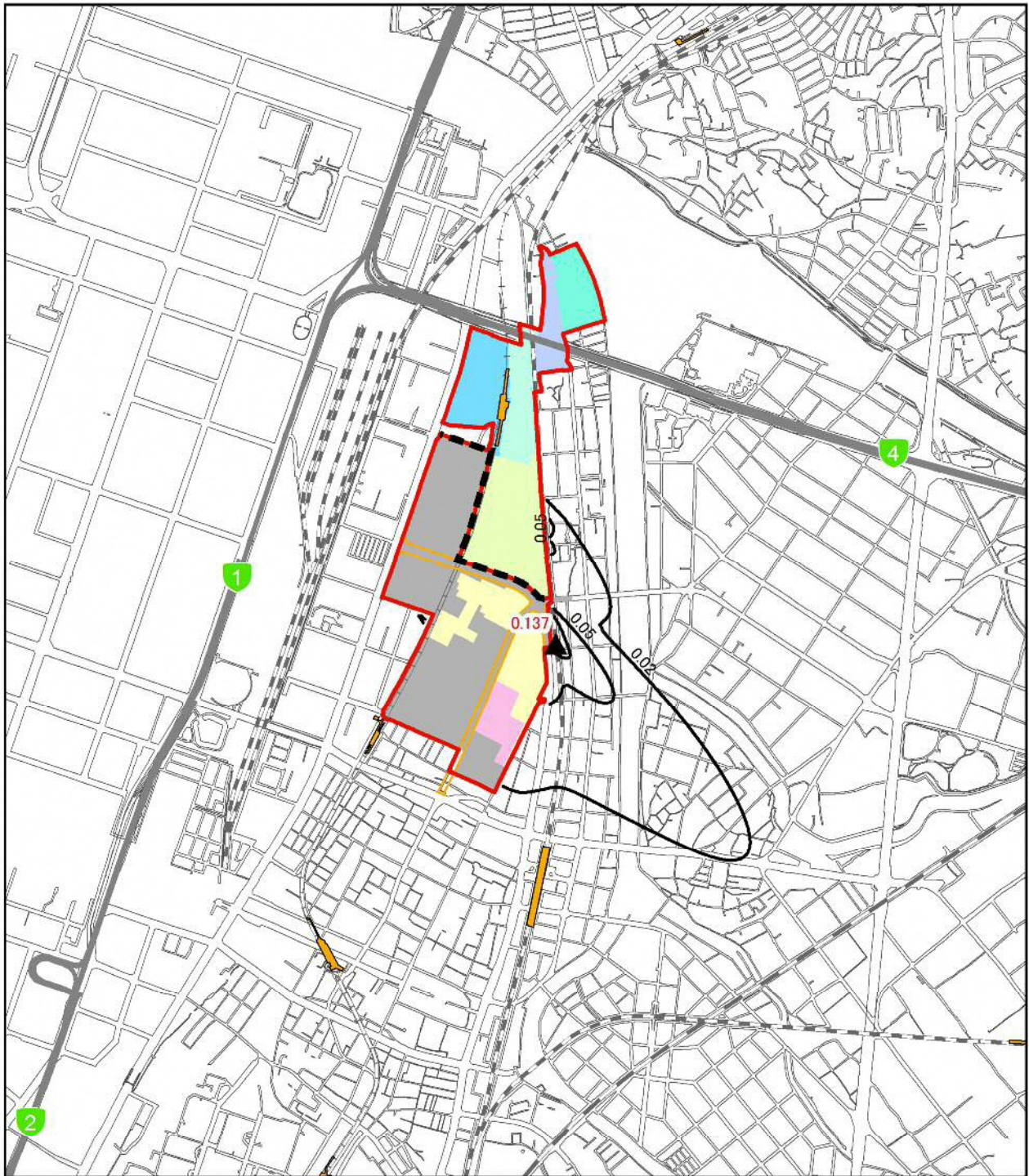
1:20,000



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(14) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

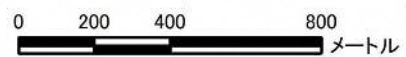
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

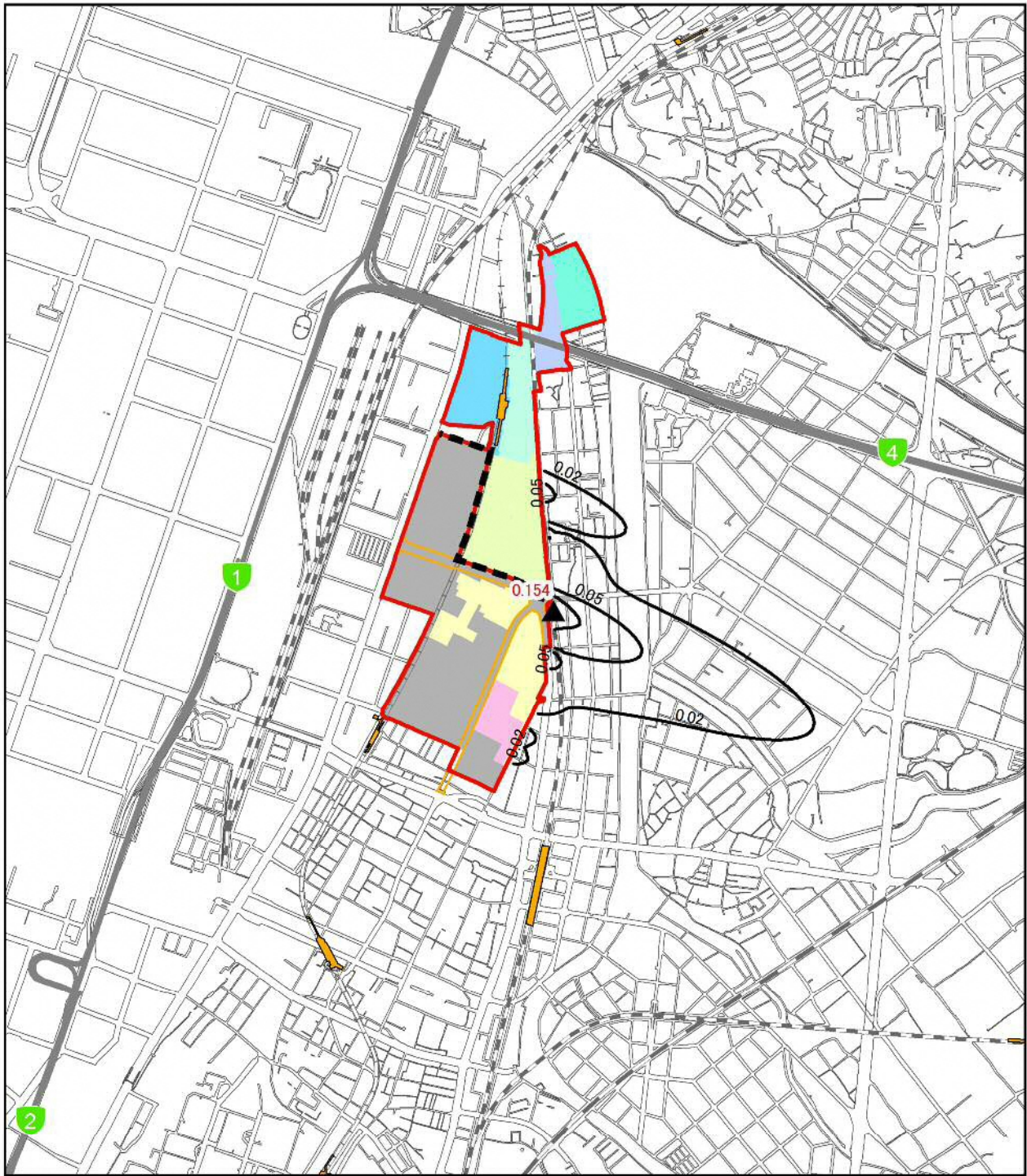
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 NW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.035mg/m³である。

図 1-2(15) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

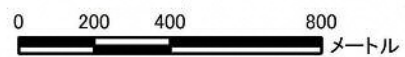
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

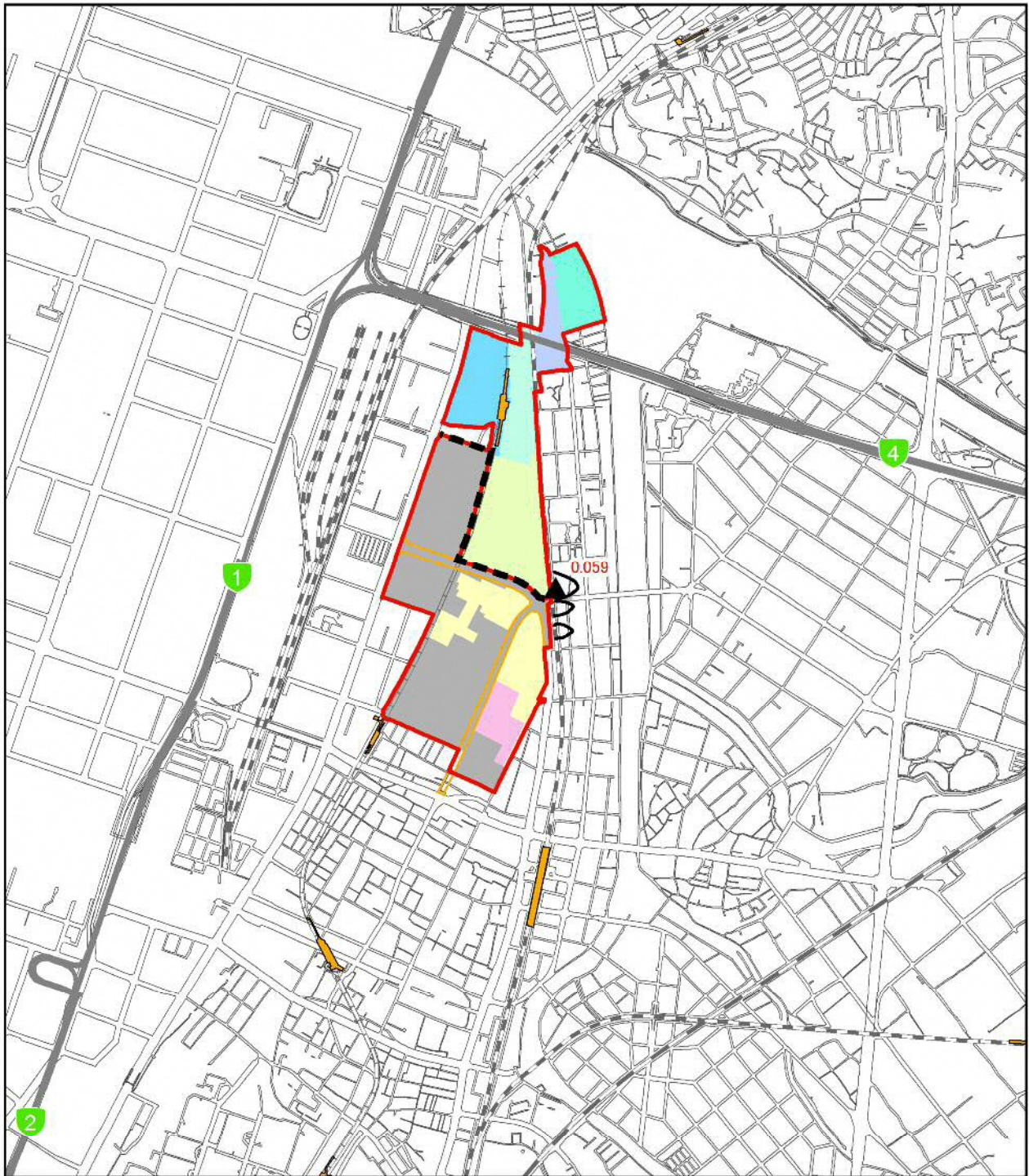
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 浮遊粒子状物質濃度(mg/m³):風向 NNW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は 0.035mg/m³である。

図 1-2(16) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 NNW 大気安定度 D



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

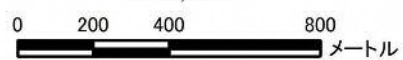
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

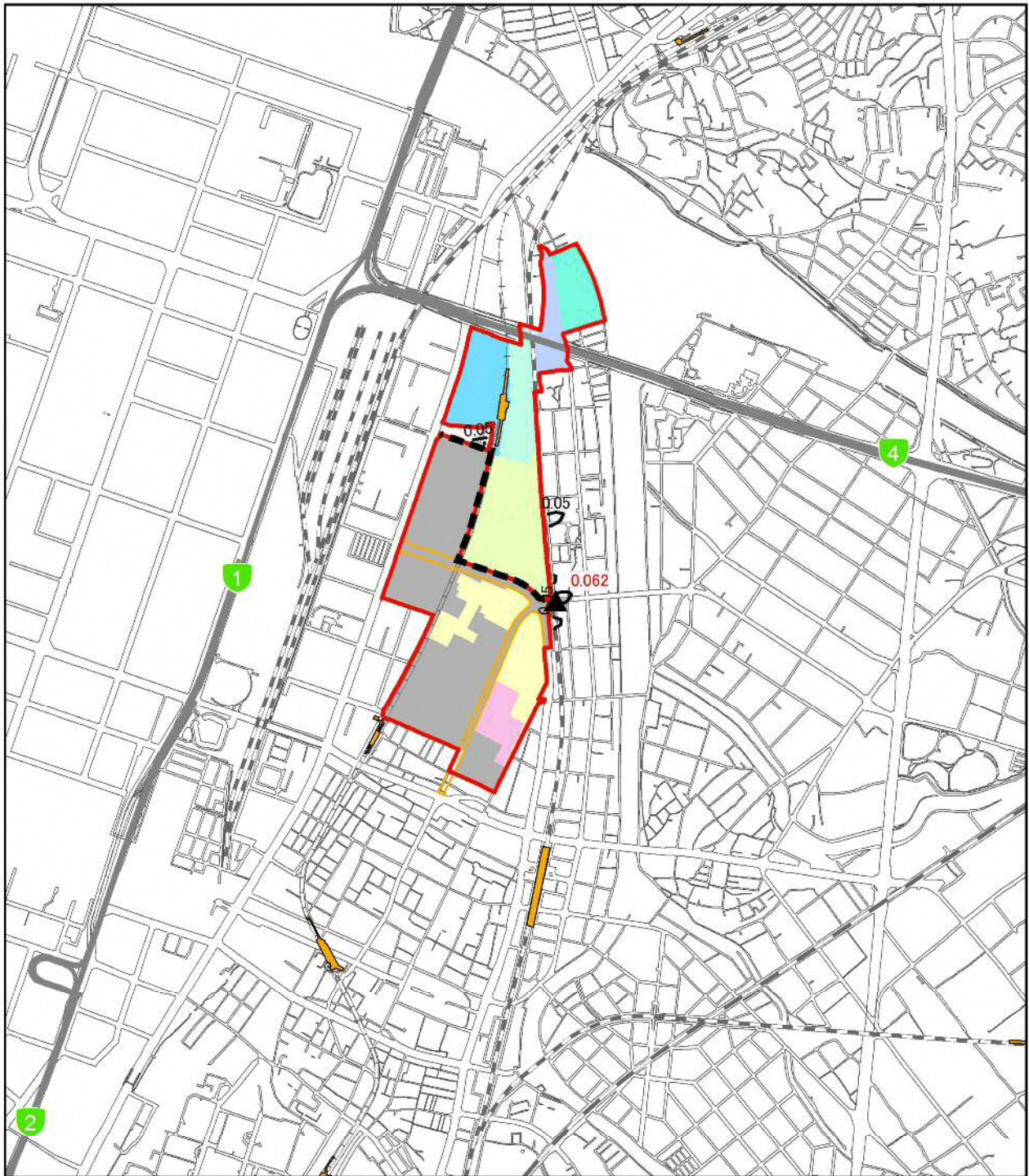
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 W 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(1) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 W 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

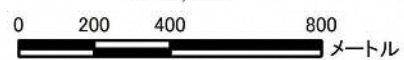
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

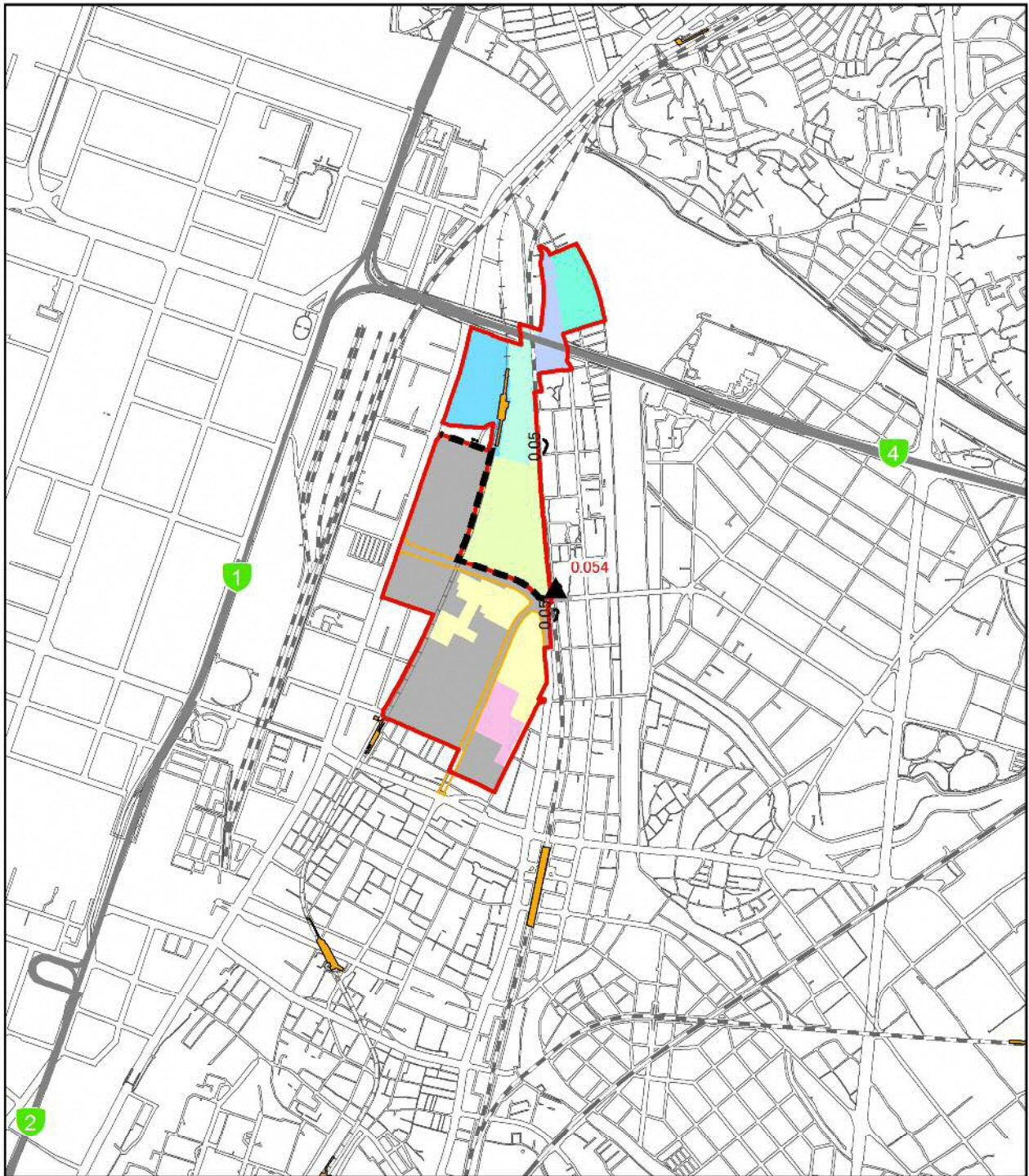
1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 WSW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(2) 工事の実施 (造成工事の実施) による二酸化窒素 (付加濃度) の予測結果
(1 時間値): 風向 WSW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

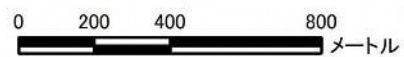
工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度

1:20,000



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤字: 濃度)
- 二酸化窒素濃度 (ppm): 風向 SW 大気安定度 D

数値は、建設機械稼働分の濃度である。
バックグラウンド濃度は0.033ppmである。

図 1-3(3) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素(付加濃度)の予測結果
(1時間値):風向 SW 大気安定度 D (環境保全措置実施後)